ドットインパクトプリンター

fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro

fit3250 / fit3150

よくある問い合わせ / ノウハウ集

富士通アイソテック株式会社

目 次

目 次 1
1 インストール関連 3
1.1 プリンターの追加によるプリンタードライバーインストール手順 3
1.2 プリンタードライバー設定変更手順 8
1.3 Standard TCP/IP ポートの追加手順 10
2 プリンター関連 14
2.1 用紙厚の調整方法 14
2.1.1 fit7850Pro / fit7650Pro 14
2.1.1.1 プリンタードライバーでの変更 14
2.1.1.2 プリンターでの変更 14
2.1.2 fit7450Pro 16
2.1.2.1 プリンタードライバーでの変更 16
2.1.2.2 プリンターでの変更 16
2.1.3 fit3250 / fit3150 17
2.2 セットフリーの設定方法 18
2.2.1 fit7850Pro / fit7650Pro 18
2.2.1.1 一時的な変更（手差しの時） 18
2.2.1.2 恒久的な変更（セットフリー設定を変更） 18
2.2.2 fit7450Pro 20
2.2.2.1 一時的な変更（手差しの時） 20
2.2.2.2 恒久的な変更（セットフリー設定を変更） 20
2.3 左端余白の設定方法 23
2.3.1 fit7850Pro / fit7650Pro 23
2.3.1.1 手動で設定 23
2.3.1.2 予め設定した値に自動設定 25
2.3.2 fit7450Pro 27
2.3.2.1 手動で設定 27
2.3.2.2 予め設定した値に自動設定 28
2.3.3 fit3250 / fit3150 32
2.3.3.1 手差し 32
2.3.3.2 カットシートフィーダー 32
2.3.3.3 トラクター 32
2.4 上端余白設定方法（上端余白量） 33
2.4.1 fit7850Pro / fit7650Pro 33
2.4.1.1 プリンタードライバーでの変更 33
2.4.1.2 プリンターでの変更 33
2.4.2 fit7450Pro 36
2.4.2.1 プリンタードライバーでの変更 36
2.4.2.2 プリンターでの変更 36
2.4.3 fit3250 / fit3150 38
2.5 上端余白設定方法（上端余白量微調整） 40
2.5.1 fit7850Pro / fit7650Pro 40
2.5.2 fit7450Pro 42
2.5.3 fit3250 / fit3150 44

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.6 リボンカセットの取り付け方法 46
2.6.1 fit7850Pro / fit7650Pro 46
2.6.2 fit7450Pro 48
2.6.3 fit3250 / fit3150 49
2.7 用紙が吸入されない 50
2.8 単票用紙を差し込んでも排出される 51
3 LAN インターフェイス関連 53
3.1 LAN インターフェイスで印刷する方法 53
3.2 プリンターが通信できない、検索できない 54
3.2.1 LED の確認方法 54
3.2.2 LED が点灯している場合 55
3.2.3 LED が点灯していない場合 56
3.3 LAN の設定を工場出荷時に戻す方法 58
3.4 プリンターの LAN 設定が失敗する 59

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

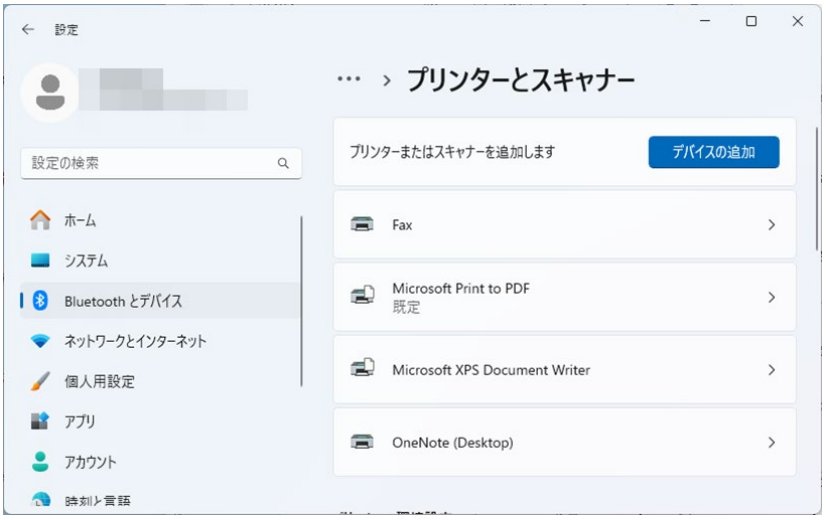
1 インストール関連

1.1 プリンターの追加によるプリンタードライバーインストール手順

ここでは、プリンター追加ウィザードを使用したプリンタードライバーインストール方法について説明します。
なお、本説明は Windows11 の OS を使用して fit7850Pro プリンターのインストール方法を例に説明します。
他のプリンターをご使用の場合は、プリンター名を読み替えてください。

また、事前にご使用されているプリンターのセットアップディスクまたは、弊社ホームページからドライバー一式をダウンロードしてください。

STEP1 「プリンターとスキャナー」を開きます。
[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[プリンターとスキャナー]の順で開きます。



STEP2 [デバイスの追加]をクリックします。

STEP3 「プリンターが一覧にない場合」部の、[手動で追加]または[新しいデバイスの追加]をクリックします。

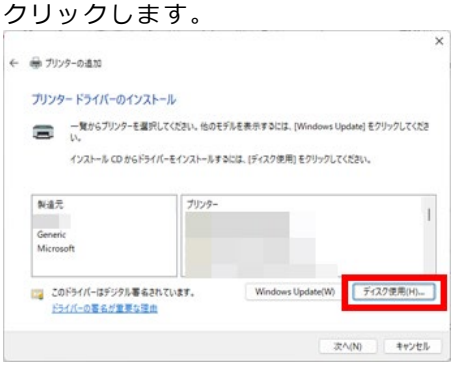
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP4　「その他のオプションでプリンターを検索」画面が表示されますので、[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

STEP5　プリンターを接続するポートを指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

- USB の場合： USBxxx
  ※ 複数の USB ポートが表示される場合は、番号が大きいポートを選択してください。
- パラレルの場合：LPT1:
- LAN の場合：作成したプリンターLAN 用のポート名
  ※ LAN ポート作成を後で行う場合は仮のポートで「LPT1:」を指定します。

STEP6　「プリンタードライバーのインストール」画面が表示されますので、「ディスク使用」をクリックします。



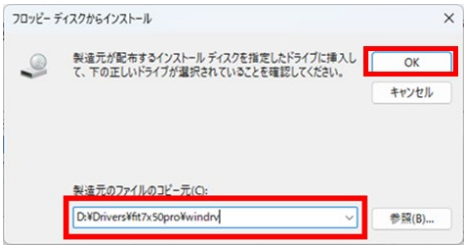
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP7　本ディスクを CD または DVD ドライブ(D:)にセットし、パス名「A:\」を「D:\Drivers\fit7x50pro\windrv」に変更して、[OK]ボタンをクリックします。

※ 上記は CD または DVD ドライブが D: の場合の例です。
その他のドライブの場合は読み替えて下さい。

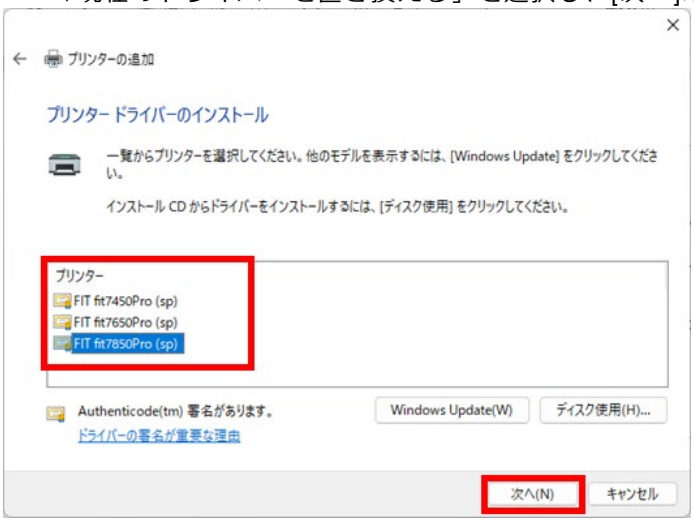
※ ダウンロードした場合は、保存したフォルダーに読み替えてください。

※ [参照]から指定する場合は、「fit7x50s」または「fit7x50s.inf」を選択してください。



STEP8　リストボックス内にモデル名が表示されます。
お使いになるモデルを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

※　「どのバージョンのドライバーを使用しますか？」という画面が表示されたときは「現在のドライバーを置き換える」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP9　「プリンター名を入力してください」画面が表示されますので、プリンター名の入力を行い、[次へ]ボタンをクリックします。

※　プリンター名を変更する場合は、変更後のプリンター名を入力してください。

※　STEP8 で、「現在のドライバーを置き換える」を選択したときは、STEP11 に進みます。

STEP10　[Windows セキュリティ]ダイアログに、「このデバイスドライバーをインストールしますか？」と表示されたら、[インストール]をクリックします。

STEP11　「プリンター共有」画面が表示されますので、プリンターを共有するかどうかの指定を行い、[次へ]ボタンをクリックします。

共有しない時：「このプリンターを共有しない」を選択します。

共有する時　：「このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする」を選択し共有名・場所・コメントを入力します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP12 「FIT fit7850Pro (sp)が正しく追加されました」と表示されていることを確認し通常使うプリンターの設定を行い、ウィザードを終了するために[完了]ボタンを、クリックします。

[テストページの印刷]ボタンが表示されますので、必要に応じテストページを実行してください。

※ テストページの印刷を行う時は、プリンターがオンラインであることを確認してください。

※ テストページでの注意事項について

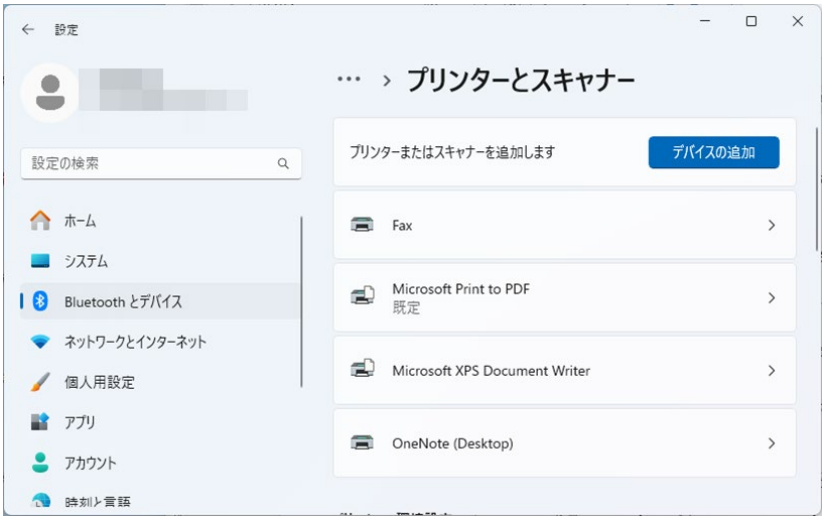
- テストページはそのときのプリンタードライバー設定に従い印刷します。
- プリンタードライバーの初期値は、給紙方法「自動選択」、用紙サイズ「A4」となっていますので A4 単票を準備のうえ、テストページを実行してください。
- 初期値以外の用紙を使用する場合は設定の変更後、テストページを実行してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

1.2 プリンタードライバー設定変更手順

ここでは、プリンタードライバーインストール後に必要な設定変更について説明します。
なお、本説明は Windows11 の OS を使用して fit7850Pro プリンターを例に説明します。
他のプリンターをご使用の場合は、プリンター名を読み替えてください。

STEP1　「プリンターとスキャナー」を開きます。
[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[プリンターとスキャナー]の順で開きます。



STEP2　「FIT fit7850Pro (sp)」プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ］をクリックします。

STEP3　プロパティ画面が表示されますので、[基本設定]をクリックします。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP4　設定変更を行ないます。

※　必要に応じて変更を行なってください。

※　設定変更項目の詳細については、取扱説明書(ソフトウェア編)を参照してください。

① レイアウトタブでは、「印刷の向き」「ページの順序」「ページの形式」の変更が可能です。

② 用紙/品質タブでは、「給紙方法」「メディア」の変更が可能です。

※　インストール後の場合は、「給紙方法」を使用する方法に合わせて変更が必要です。

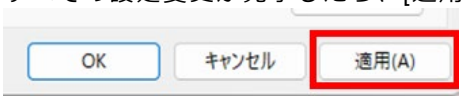
③ [詳細設定]をクリックすると、詳細オプションが表示され、その他の設定変更が可能です。

※ インストール後の場合は、「用紙サイズ」を使用する用紙に合わせて変更が必要です。変更後、[OK]をクリックします。

④ プロパティ画面に戻ったら、「デバイスの設定」タブを開き、設定変更を行ないます。

※　インストール後の場合は、「割り当てがないときの給紙方法」を使用する給紙方法(②)に合わせて変更が必要です。
また、上記設定に合わせて、使用する給紙方法の用紙を③の「用紙サイズ」と合わせて変更します。

STEP5　すべての設定変更が完了したら、[適用]をクリックします。



STEP6　必要に応じて、全般タブの[テストページの印刷]をクリックして、正しく印刷が行なわれることを確認します。

※　印刷を行なう前に、プリンター電源を入れ、用紙給紙を行なってください。

※　印刷が正しく行われない場合は、再度設定を確認してください。

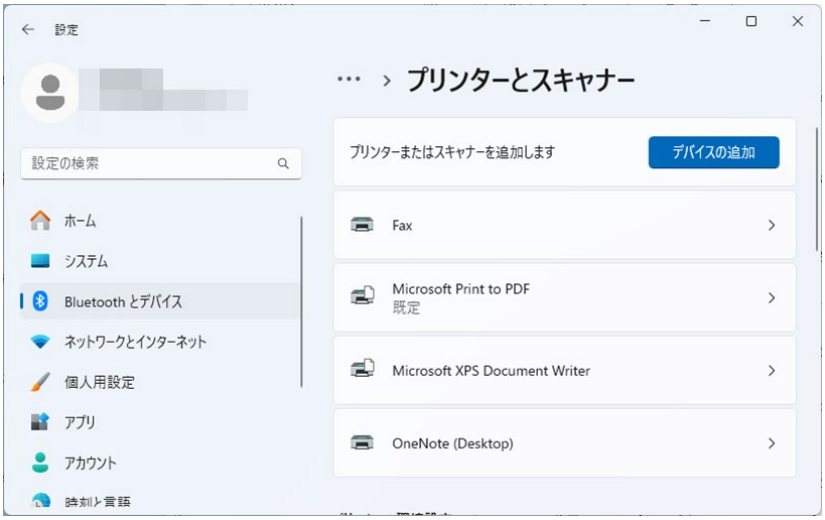
STEP7　[OK]をクリックし、設定完了です。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

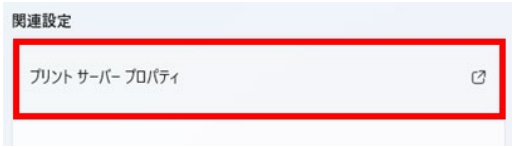
1.3 Standard TCP/IP ポートの追加手順

ここでは、Standard TCP/IP ポートの追加方法について説明します。
なお、本説明は Windows11 の OS を使用して「Raw で印刷する」を選択する場合の説明となります。

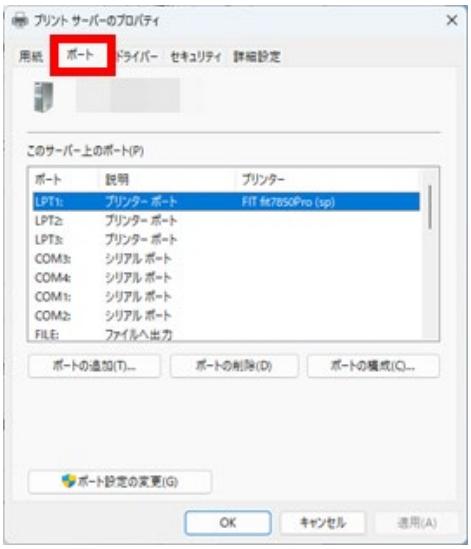
STEP1　「プリンターとスキャナー」を開きます。
[スタート]→[設定]→[Bluetooth とデバイス]→[プリンターとスキャナー]の順で開きます。



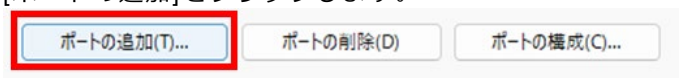
STEP2　[プリントサーバープロパティ] をクリックします。



STEP3　「ポート」タブを開きます。

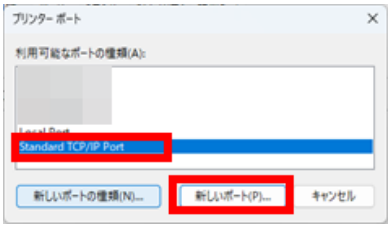


STEP4　[ポートの追加]をクリックします。



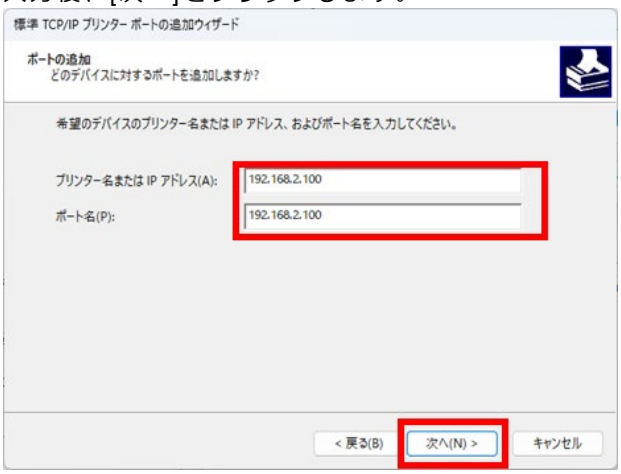
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP5　利用可能なポートの種類の中から「Standard TCP/IP Port」を選択し、[新しいポート]をクリックします。



STEP6　標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザードが表示されます。[次へ]をクリックします。

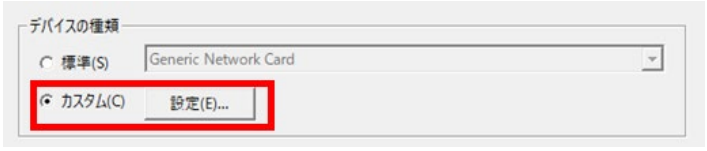
STEP7　「プリンター名または IP アドレス」欄にプリンターの IP アドレスを記載します。
「ポート名」は自動で入力されますが、任意で変更が可能です。
入力後、[次へ]をクリックします。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP8　TCP/IP ポートの検出画面が表示されますので、しばらくお待ちください。

STEP9　「追加のポート情報が必要です」と表示されます。デバイスの種類の「カスタム」を選択し、[設定]をクリックします。

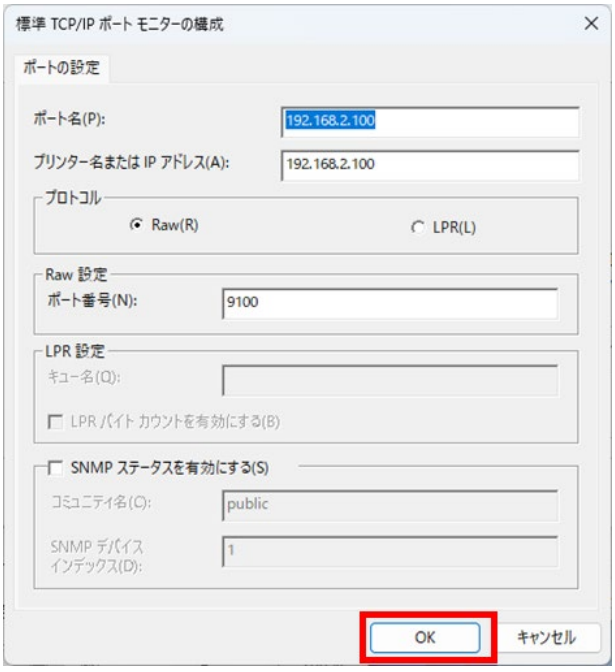


STEP10　以下の設定になっていることを確認し、[OK]をクリックします。

- プロトコル：「Raw」にチェックがある
- Raw 設定 - ポート番号：9100

※ プロトコルを「LPR」でご使用する場合は、以下の設定を確認します。

- プロトコル：「LPR」にチェックがある
- LPR バイトカウントを有効にする：チェック



STEP11　STEP9 の画面に戻りましたら、[次へ]をクリックします。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP12　[完了]をクリックしてポートの追加は完了です。

STEP13　プリンターポート画面に戻りましたら、[閉じる]をクリックします。

STEP14　プリントサーバーのプロパティ画面に戻りましたら、[閉じる]をクリックします。

STEP15　ポート追加完了後、必要に応じて以下の対応を行ってください。

① インストール済みのプリンタードライバーのポートに作成したポートを割り当てる

② 新たにプリンタードライバーをインストールし、作成したポートを割り当てる

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2 プリンター関連

2.1 用紙厚の調整方法

2.1.1 fit7850Pro / fit7650Pro

用紙厚調整の値の目安は以下の通りです。

用紙の種類と厚さ			紙厚調整の値(レンジx)												
1枚紙	複写紙	推奨厚さ(mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D
連量45～70kg	一般的な1P(連量34kg)	0.08	○												
連量70～110kg	一般的な2P	0.13		○											
連量110～135kg	一般的な3P	0.18			○										
はがき	一般的な4P	0.23				○									
各種封筒	一般的な5P	0.28					○								
特殊紙	一般的な6P	0.33						○							
など	一般的な7P	0.38							○						
	一般的な8P	0.43								○					
	一般的な9P	0.48									○				
	各種宅配伝票	0.53										○			
	(ゆうパックなど)	0.58											○		
		0.63												○	
		0.68													○

変更方法は以下の 2 通りとなりますので、ご使用状況に応じて選択してください。

2.1.1.1 プリンタードライバーでの変更

プリンタードライバーのプロパティを開き、[用紙/品質]タブの"メディア"の設定にて変更が可能です。

※ プリンタードライバーでのメディア(用紙厚設定)設定は、プリンターの操作パネル液晶表示の紙厚調整が「オート」時のみ有効となります。
プリンターの操作パネル液晶表示の紙厚調整が「オート」以外の場合、プリンターでの変更にて「オート」に 変更する必要があります。

2.1.1.2 プリンターでの変更

STEP1 プリンターの電源を投入します。

STEP2 プリンターの操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、
[登録・終了｜オンライン] スイッチを押します。

STEP3 「オンライン」ランプが消灯していることを確認します。

STEP4 操作パネルの [書体 | 紙厚調整] スイッチを押し、「カミアツチョウセイ」モードに入ります。

STEP5 液晶ディスプレイに選択中の紙厚調整の値が表示されます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP6　操作パネルの以下のスイッチを使用して、紙厚調整の値を切り替えます。

[▸ | 用紙カット | 用紙吸入／排出]	『オート』と『マニュアル（レンジ x)』を相互に切り替える
[◂ | 手前排出 | 改行]	『オート』と『マニュアル（レンジ x)』を相互に切り替える
[微小改行▲]	『マニュアル（レンジ x)』のレンジ値を変更する (1→2→…→D)
[微小改行▼]	『マニュアル（レンジ x)』のレンジ値を変更する (1→D→…→2)

STEP7　[書体｜紙厚調整] スイッチを押して、選択中の紙厚調整の値を確定・記憶させます。

STEP8　[登録・終了｜オンライン] スイッチを押して、プリンターの操作パネルの「オンライン」ランプを点灯させます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.1.2 fit7450Pro

用紙厚調整の値の目安は以下の通りです。

用紙の種類と厚さ			メディア設定(x枚厚)							
1枚紙	複写紙	推奨厚さ(mm)	1	2	3	4	5	6	7	8
連量40～70kg	一般的な1P(連量34kg)	0.08	○							
連量70～110kg	一般的な2P	0.13		○						
連量110～135kg	一般的な3P	0.18			○					
はがき	一般的な4P	0.23				○				
各種封筒	一般的な5P	0.28					○			
特殊紙	一般的な6P	0.33						○		
など	一般的な7P	0.38							○	
	一般的な8P	0.43								○

変更方法は以下の 2 通りとなりますので、ご使用状況に応じて選択してください。

2.1.2.1 プリンタードライバーでの変更

プリンタードライバーのプロパティを開き、[用紙/品質]タブの”メディア”の設定にて変更が可能です。

※ プリンタードライバーでのメディア(用紙厚設定)設定は、プリンターの操作パネルの「自動紙厚調整」ランプが 点灯時のみ有効となります。
プリンターの操作パネルの「自動紙厚調整」ランプが消灯時の場合、プリンターでの変更の自動紙厚調整を行う 必要があります。

2.1.2.2 プリンターでの変更

■手動紙厚調整を行いたい場合

STEP1 プリンターの電源を投入します。

STEP2 プリンターの操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、 [オンライン] スイッチを押します。

STEP3 操作パネルの「オンライン」ランプが消灯していることを確認します。

STEP4 操作パネルの「自動紙厚調整」ランプが点灯している場合は、「自動紙厚調整」ランプが消灯するまで [自動紙厚調整] スイッチを長押します。

STEP5 操作パネルの [手動紙厚調整ダイアル] を回転させて、用紙厚調整の位置を選択します。

STEP6 操作パネルの [オンライン] スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させます。

■自動紙厚調整を行いたい場合

STEP1 プリンターの電源を投入します。

STEP2 プリンターの操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、 [オンライン] スイッチを押します。

STEP3 操作パネルの「オンライン」ランプが消灯していることを確認します。

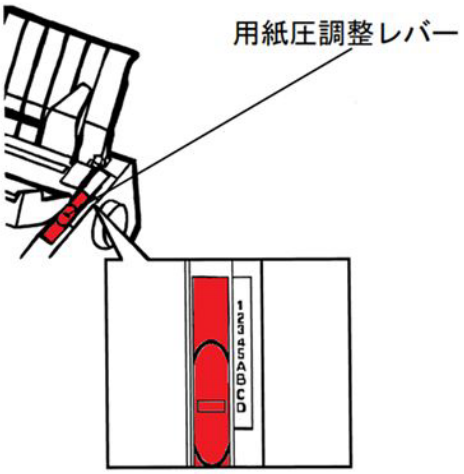
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP4　操作パネルの「自動紙厚調整」ランプが消灯している場合は、「自動紙厚調整」ランプが点灯するまで [自動紙厚調整] スイッチを長押します。

STEP5　操作パネルの [オンライン] スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させます。

2.1.3　fit3250 / fit3150

[用紙厚調整レバー] をスライドさせて調整します。



用紙厚調整の値の目安は以下の通りです。

用紙調整レバーの目盛り	印字ヘッドとプラテンの間隔とセットできる用紙枚数　※1
1	1 枚
2	1～3 枚
3	2～4 枚
4	4～5 枚
5	5 枚、はがき 1 枚 ※2
A～C	“5”以上の広さ “5”では印字ヘッドとプラテンの間隔が狭いときに、A～C の順に用紙厚レバーをセットしてみてください。
D	印字ヘッドとプラテンの間隔が最も広くなります。 リボンカセットを交換するときや、用紙づまりを取り除くときに、用紙厚調整レバーをセットします。

※1　用紙とは、連続帳票用紙または単票用紙をさします。
※2　はがきは、郵便はがきとし、連量 160kg とします。
　　用紙のリボンによる汚れが気になる場合は、用紙厚調整レバーの目盛り位置をひと目盛り大きく設定してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.2 セットフリーの設定方法

（対象プリンター：fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro）

2.2.1 fit7850Pro / fit7650Pro

2.2.1.1 一時的な変更（手差しの時）

給紙口が単票手差しの場合、操作パネルのスイッチで、セットフリーの有効/無効を切り替えることができます。
操作パネルで有効/無効の切り替えができるのは、「手差し」のみです。
「手差し」以外の給紙口は、「恒久的な変更（セットフリー設定を変更する）」を参照してください。

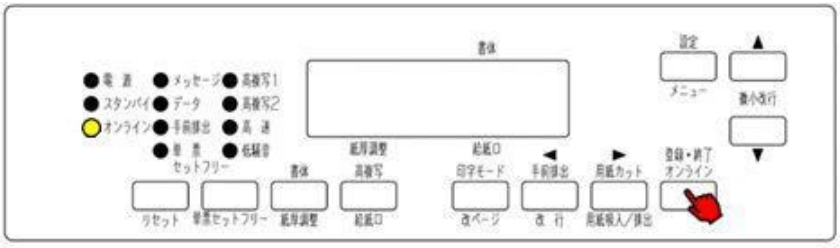
STEP1 〔単票セットフリー〕スイッチを押し、「単票セットフリー」ランプを点灯、または消灯させます。
・ランプ点灯：単票セットフリー：有効
・ランプ消灯：単票セットフリー：無効

2.2.1.2 恒久的な変更（セットフリー設定を変更）

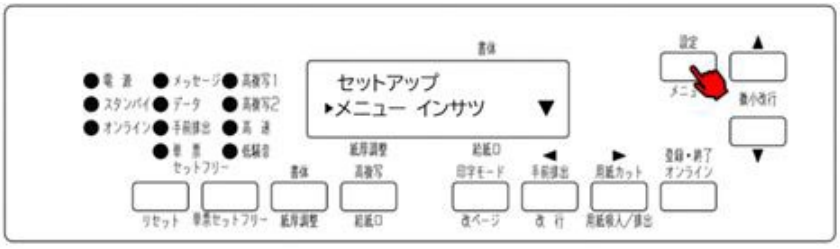
現在の設定を確認するときは、STEP2～STEP5 の操作をしてください。STEP5 の操作で下段に表示された内容が設定値になります。
再設定するときは、STEP2～STEP7 の操作を行ってください。

STEP1 プリンターの電源を投入します。

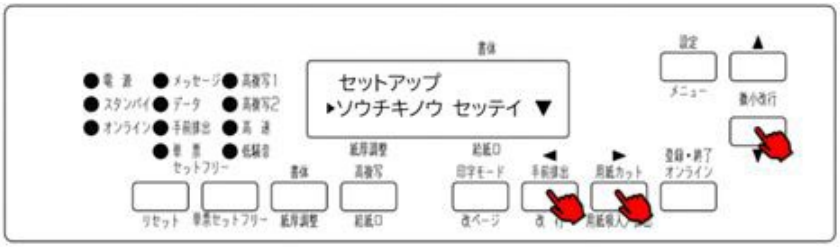
STEP2 操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、
〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



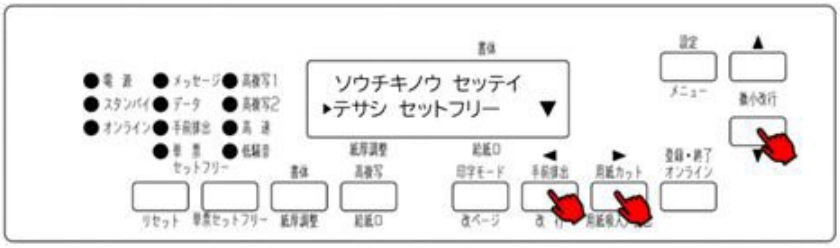
STEP3 操作パネルの「オンライン」ランプが消灯していることを確認し、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。



STEP4　操作パネルの〔◀｜手前排出｜改行〕または〔▶｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押し、『ソウチキノウ セッテイ』を選び〔微小改行▼〕スイッチを押します。

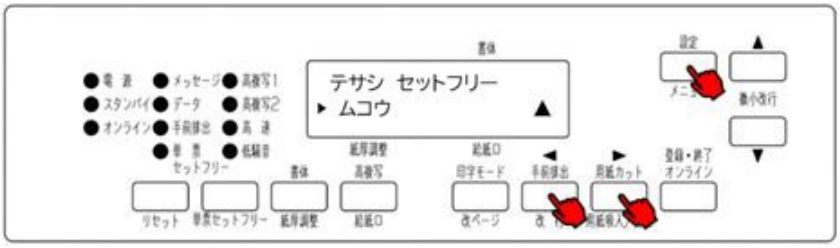


STEP5　操作パネルの〔◀｜手前排出｜改行〕または〔▶｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押し、変更するセットフリー項目を選び〔微小改行▼〕スイッチを押します。

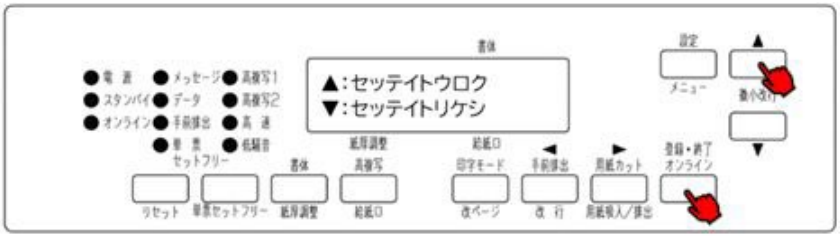


・手差しの場合	『テサシ　セットフリー』
・フロントカットシートフィーダーの場合	『FCSF セットフリー』
・リアカットシートフィーダーの場合	『RCSF セットフリー』
・フロントトラクターフィーダーの場合	『F トラクタ セットフリー』
・リアトラクターフィーダーの場合	『R トラクタ セットフリー』

STEP6　操作パネルの〔◀｜手前排出｜改行〕または〔▶｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押し、『ユウコウ』または『ムコウ』を選び、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。
手差しセットフリーの初期値は『ユウコウ』です。



STEP7　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押し、更に〔微小改行▲〕スイッチを押して設定を登録します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.2.2　fit7450Pro

2.2.2.1　一時的な変更（手差しの時）

給紙口が単票手差しの場合、操作パネルのスイッチで、セットフリーの有効/無効を切り替えることができます。
操作パネルで有効/無効の切り替えができるのは、「手差し」のみです。
「手差し」以外の給紙口は、「恒久的な変更（セットフリー設定を変更する)」を参照してください。

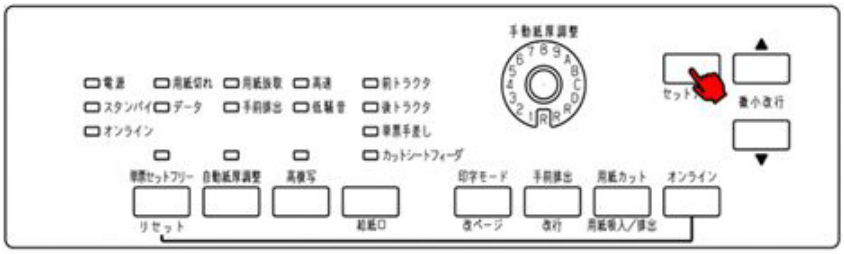
STEP1　〔単票セットフリー〕スイッチを押し、「単票セットフリー」ランプを点灯、または消灯させます。
・ランプ点灯：単票セットフリー：有効
・ランプ消灯：単票セットフリー：無効

2.2.2.2　恒久的な変更（セットフリー設定を変更）

現在の設定を確認するときは、STEP3 の操作で『設定一覧』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押して設定一覧印刷を行ってください。
再設定するときは、STEP2～STEP9 の操作を行ってください。

STEP1　A4 縦以上の用紙を手差し口にセットし、プリンターの電源を切ります。
カットシートフィーダーを搭載している場合は外します。

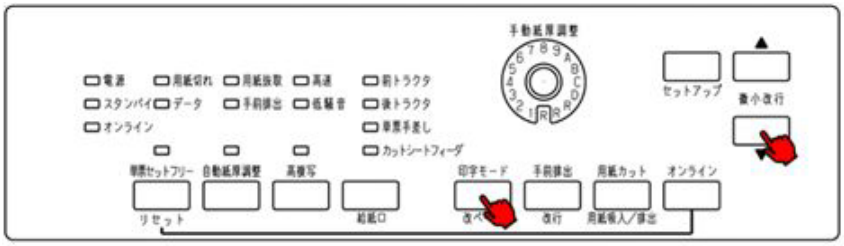
STEP2　操操作パネルの〔セットアップ〕スイッチを押しながらプリンターの電源を投入します。
一度すべてのランプが点灯してから、スイッチを離します。
セットした単票用紙が排出されたら、再度セットしてください。



操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

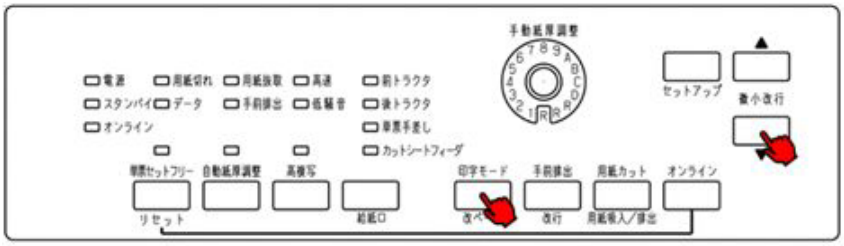
STEP3　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドの中央が『設定』に移動していることを確認し〔微小改行▼〕スイッチを押します。



操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定　　余白量設定　　ＥＰ設定　　補正機能　　その他の設定
```

STEP4　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドが『装置機能設定』に移動していることを確認し〔微小改行▼〕スイッチを押します。

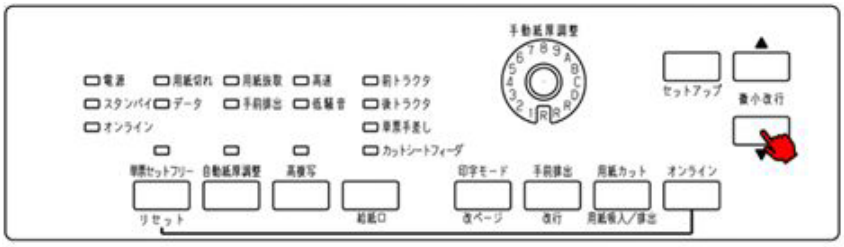


操作により以下の印刷を行います。

```
印字モード
標準　　高速　　低騒音
```

STEP5　項目が変更するセットフリー項目になるまで操作パネルの〔微小改行▼〕スイッチを押します。

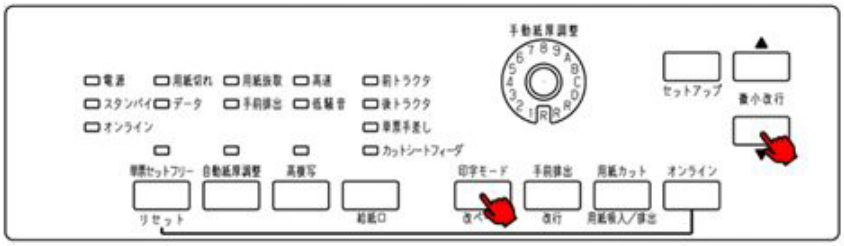
・手差しの場合　　『手差しセットフリー』
・フロントカットシートフィーダーの場合　　『前 CSF セットフリー』
・リアカットシートフィーダーの場合　　『後 CSF セットフリー』
・フロントトラクターフィーダーの場合　　『前トラクタセットフリー』
・リアトラクターフィーダーの場合　　『後トラクタセットフリー』



操作により以下の印刷を行います。　以下は、「手差しセットフリー」の場合です。

```
手差しセットフリー
有効　　無効
```

STEP6　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、『有効』または『無効』を選び、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
手差しセットフリーの初期値は『有効』です。

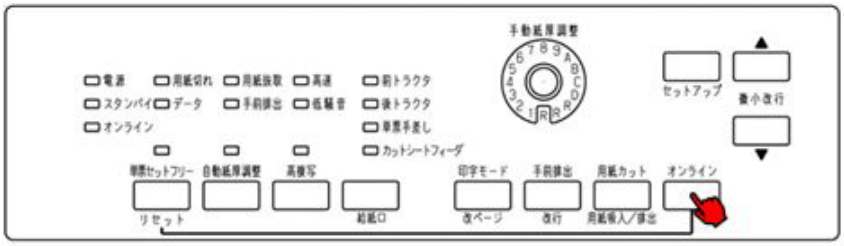


操作により以下の印刷を行います。選択した値に下線が引かれ、次の項目を印刷します。

```
有効          無効
前CSFセットフリー
有効          無効
```

次の項目

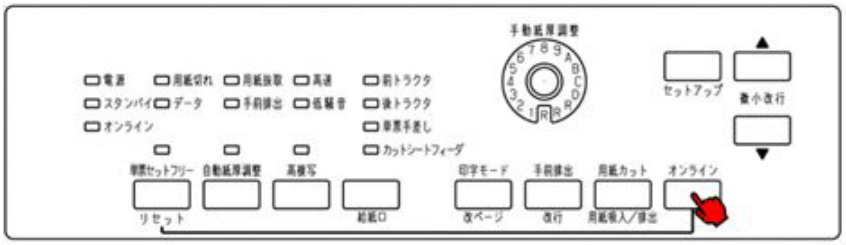
STEP7　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定    余白量設定    ＥＰ設定    補正機能    その他の設定
```

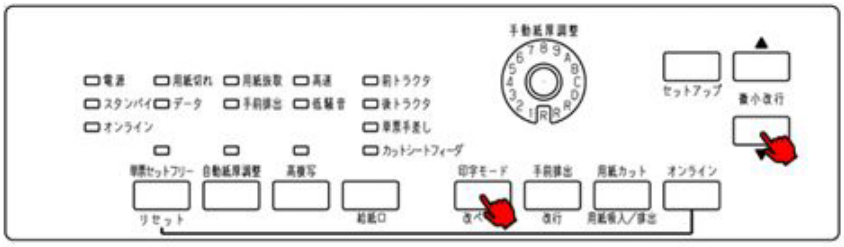
STEP8　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



操作により以下の印刷を行います。

```
設　定      終　了      設定一覧      初期化
```

STEP9　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドが『終了』に移動していることを確認し〔微小改行▼〕スイッチを押します。



操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ終了
```

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.3 左端余白の設定方法

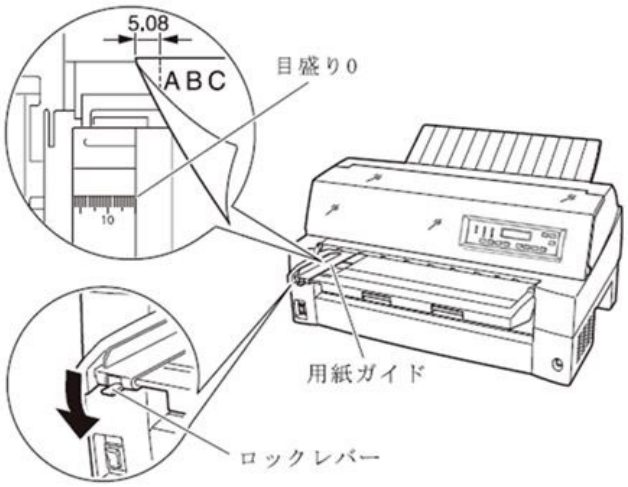
2.3.1 fit7850Pro / fit7650Pro

2.3.1.1 手動で設定

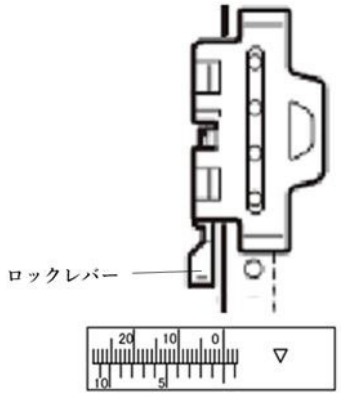
STEP1 「セットフリーの設定方法：fit7850Pro / fit7650Pro の場合」の「恒久的な変更（セットフリー設定を変更する)」を参照し、プリンターのセットフリー設定を『無効』にします。(2.2 セットフリーの設定方法 参照)

STEP2 お使いになる給紙口の設定を行います。
手差し、カットシートフィーダーをお使いのときは、本項の操作で完了です。
トラクターフィーダーをお使いのときは、本項の操作を行ってから、STEP3 の操作を行ってください。

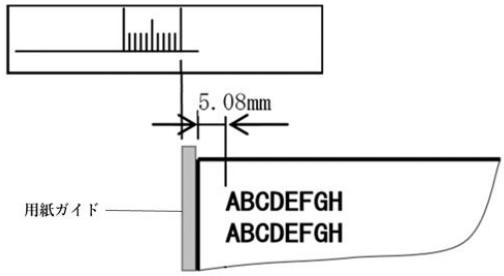
●手差し
左端余白は、左側の用紙ガイドのロックレバーを引き上げてロックを解除し、用紙ガイドを左右にスライドして行います。
設定後はロックレバーを押し下げてロックします。
用紙ガイドの左端をスケールの 0 の位置に合わると、用紙の左端から 5.08mm の位置が第 1 ドットになります。



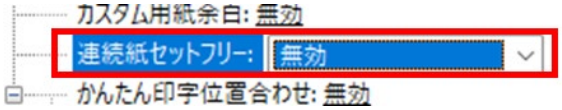
●トラクターフィーダー
トラクターフィーダー位置の調整は、トラクターフィーダーのロックレバーを引き上げてロックを解除し、トラクターフィーダーを左右にスライドして行います。
調整後はロックレバーを押し下げてロックします。
用紙の左端をスケールの 0 の位置に合わると▽の位置が第 1 ドットになります。



●カットシートフィーダー
位置の調整は、左側の CSF 用紙ガイドを左右にスライドして行います。
用紙ガイドの左端をスケールの右端の位置に合わると、用紙の左端から 5.08mm の位置が第 1 ドットになります。



STEP3　プリンタードライバーの連続紙セットフリー設定を『無効』にします。



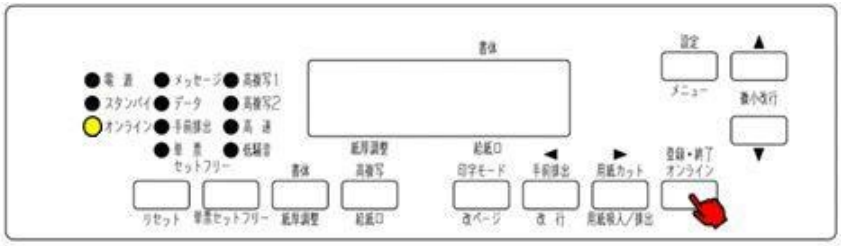
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.3.1.2　予め設定した値に自動設定

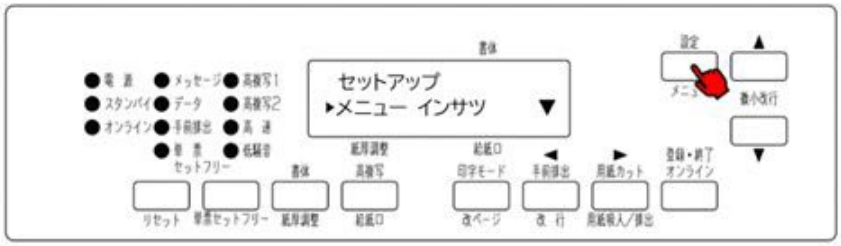
STEP1　「セットフリーの設定方法：fit7850Pro / fit7650Pro の場合」の「恒久的な変更（セットフリー設定を変更する）」を参照し、プリンターのセットフリー設定を『有効』にします。（2.2 セットフリーの設定方法 参照）

STEP2　プリンターの『セットフリーヨハク』により左端余白量を設定します。
現在の設定を確認する場合は 2～5 の操作をしてください。5 の操作で下段に表示された内容が設定値になります。
再度設定を行う場合は 2～7 の操作を行ってください。

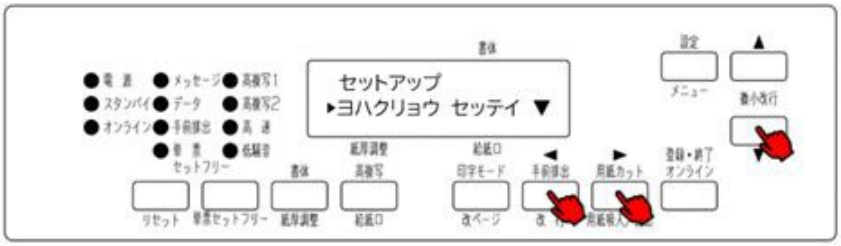
1. プリンターの電源を投入します。
2. 操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



3. 操作パネルの「オンライン」ランプが消灯していることを確認し、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。

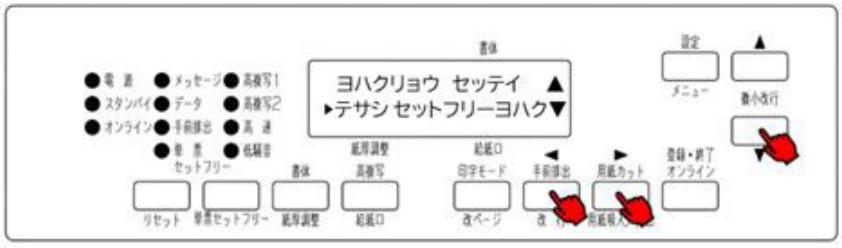


4. 操作パネルの〔◄｜手前排出｜改行〕または〔►｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイイッチを押し、『ヨハクリョウ セッテイ』を選び〔微小改行▼〕スイッチを押します。



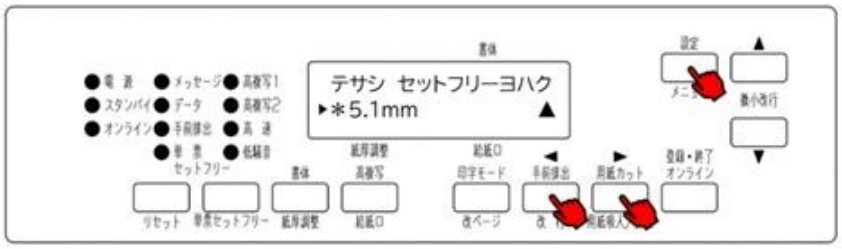
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

5. 操作パネルの〔◀｜手前排出｜改行〕または〔▶｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押し、お使いになる給紙口の『セットフリーヨハク』を選び、〔微小改行▼〕スイッチを押します。

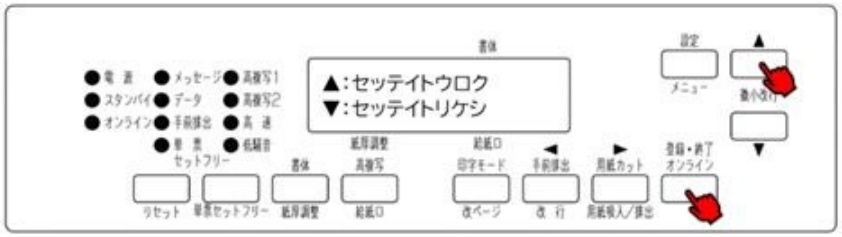


・手差しの場合　『テサシ セットフリーヨハク』
・フロントカットシートフィーダーの場合　『FCSF セットフリーヨハク』
・リアカットシートフィーダーの場合　『RCSF セットフリーヨハク』
・フロントトラクターの場合　『F トラクタ セットフリーヨハク』
・リアトラクターの場合　『R トラクタ セットフリーヨハク』

6. 操作パネルの〔◀｜手前排出｜改行〕または〔▶｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押し、 左端余白量を選び〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。
左端余白量はは 0.0mm～45.2mm まで 0.3mm 単位で選択できますが、5.0mm 未満は印字領域外となりますので 印字はしないでください。
左端余白量の初期値は『5.1mm』です。

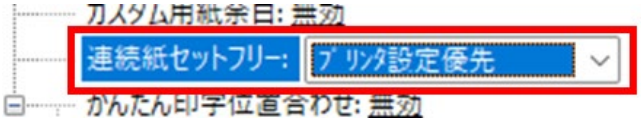


7. 操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押し、更に〔微小改行▲〕スイッチを押して設定を登録します。



8. 手差し、カットシートフィーダーをお使いのときは、これで完了です。
トラクターフィーダーをお使いのときは、3 の操作を行ってください。

STEP3　プリンタードライバーの連続紙セットフリー設定を『プリンタ設定優先』に変更します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

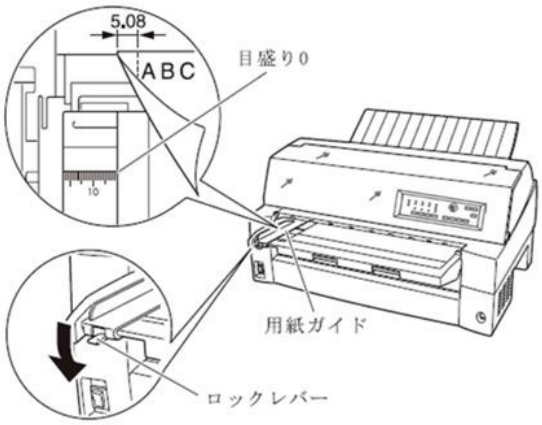
2.3.2 fit7450Pro

2.3.2.1 手動で設定

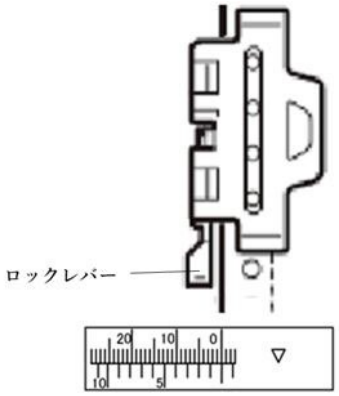
STEP1 「セットフリーの設定方法：fit7450Pro の場合」の「恒久的な変更（セットフリー設定を変更する)」を参照し、プリンターのセットフリー設定を『無効』にします。(2.2 セットフリーの設定方法 参照)

STEP2 お使いになる給紙口の設定を行います。
手差し、カットシートフィーダーをお使いのときは、本項の操作で完了です。
トラクターフィーダーをお使いのときは、本項の操作を行ってから、STEP3 の操作を行ってください。

●手差し
左端余白は、左側の用紙ガイドのロックレバーを引き上げてロックを解除し、用紙ガイドを左右にスライドして行います。
設定後はロックレバーを押し下げてロックします。
用紙ガイドの左端をスケールの 0 の位置に合わると、用紙の左端から 5.08mm の位置が第 1 ドットになります。

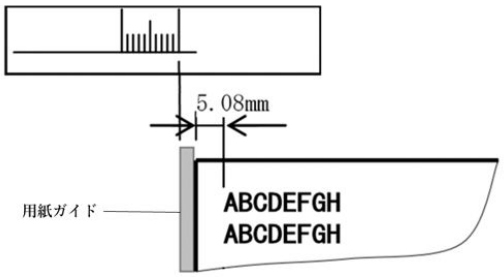


●トラクターフィーダー
トラクター位置の調整は、トラクターのロックレバーを引き上げてロックを解除し、トラクターを左右にスライドして行います。
調整後はロックレバーを押し下げてロックします。
用紙の左端をスケールの 0 の位置に合わると▽の位置が第 1 ドットになります。

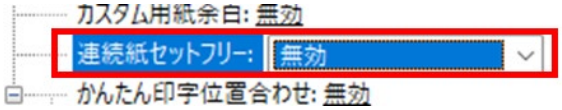


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

●カットシートフィーダー
位置の調整は、左側の CSF 用紙ガイドを左右にスライドして行います。
用紙ガイドの左端をスケールの右端の位置に合わると、用紙の左端から 5.08mm の位置が第 1 ドットになります。



STEP3　プリンタードライバーの連続紙セットフリー設定を『無効』にします。



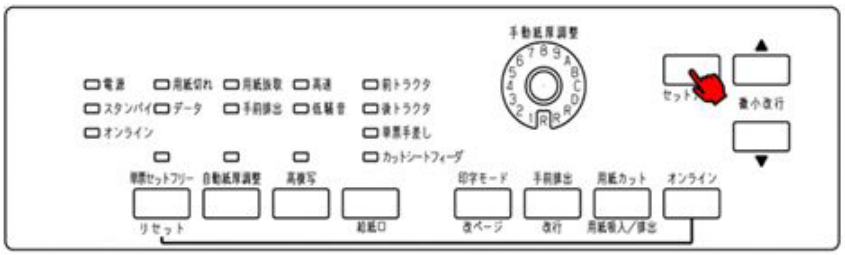
2.3.2.2　予め設定した値に自動設定

STEP1　「セットフリーの設定方法：fit7450Pro の場合」の「恒久的な変更（セットフリー設定を変更する）」を参照し、プリンターのセットフリー設定を『有効』にします。（2.2 セットフリーの設定方法 参照）

STEP2　現在の設定を確認するときは、3 の操作で『設定一覧』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押して設定一覧印刷を行ってください。
再設定するときは、2～9 の操作を行ってください。

1. A4 縦以上の用紙を手差し口にセットし、プリンターの電源を切ります。
   カットシートフィーダーを搭載している場合は外します。

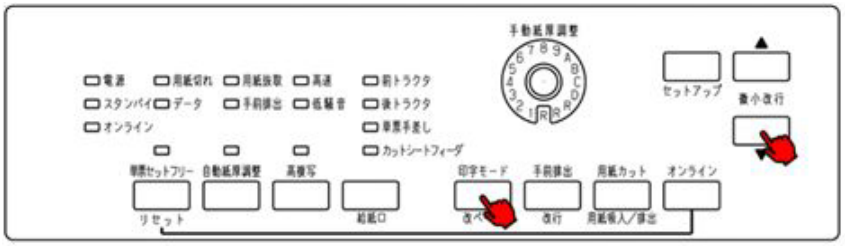
2. 操作パネルの〔セットアップ〕スイッチを押しながらプリンターの電源を投入します。
   一度すべてのランプが点灯してから、スイッチを離します。
   セットした単票用紙が排出されたら、再度セットしてください。



操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

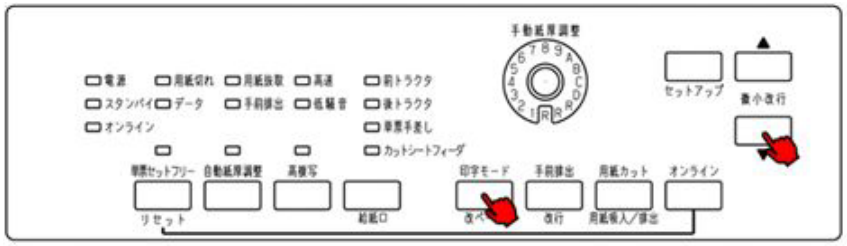
3. 操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドの中央が『設定』に移動していることを確認し〔微小改行▼〕スイッチを押します。



操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定    余白量設定    ＥＰ設定    補正機能    その他の設定
```

4. 操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドが『余白量設定』に移動していることを確認し〔微小改行▼〕スイッチを押します。

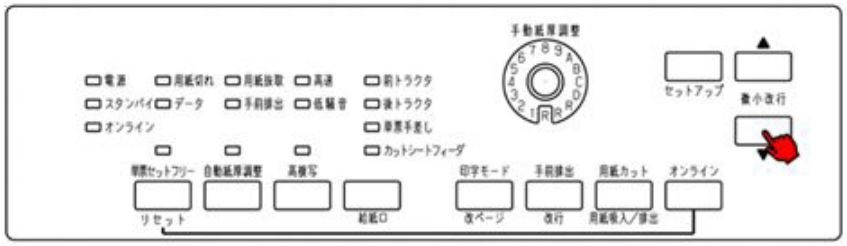


操作により以下の印刷を行います。

```
上端余白量指定
ドライバ優先      プリンタ優先
```

5. 項目が、お使いになる給紙口の『セットフリー余白量』になるまで操作パネルの〔微小改行▼〕スイッチを押します。

・手差しの場合　『手差し セットフリー余白量』
・フロントカットシートフィーダーの場合　『前 CSF セットフリー余白量』
・リアカットシートフィーダーの場合　『後 CSF セットフリー余白量』
・フロントトラクターの場合　『前トラクタセットフリー余白量』
・リアトラクターの場合　『後トラクタセットフリー余白量』

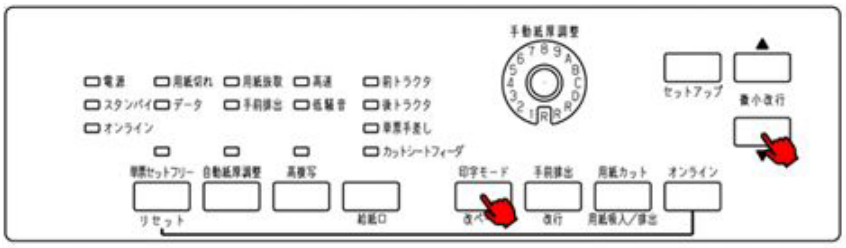


操作により以下の印刷を行います。 以下は、「手差しセットフリー余白量」の場合です。

```
手差しセットフリー余白量
4.5mm   4.8mm   5.1mm   5.4mm   5.6mm   5.9mm   6.2mm   6.5mm   次の設定値
```

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

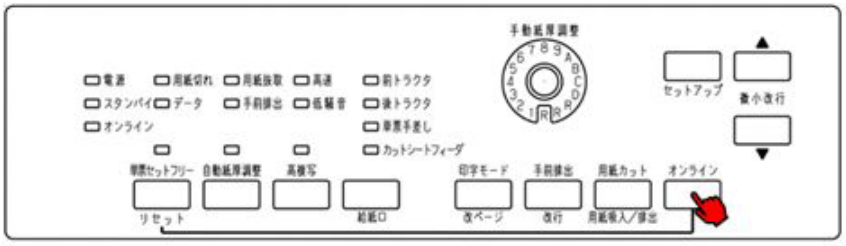
6. 操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドを変更したい設定値へ移動したら〔微小改行▼〕スイッチを押します。
   変更したい設定値が無い場合は『次の設定値』を選択し〔微小改行▼〕スイッチを押します。
   操作を変更したい設定値が見つかるまで繰り返します。
   左端余白量はは 0.0mm～45.2mm まで 0.3mm 単位で選択できますが、5.0mm 未満は印字領域外となりますので印字はしないでください。
   左端余白量の初期値は『5.1mm』です。



   操作により以下の印刷を行います。(+5.9mm 設定の時)

```
4.5mm  4.8mm  5.1mm  5.4mm  5.6mm  5.9mm  6.2mm  6.5mm  次の設定値
前CSF上セットフリー余白量                                          } 次の項目
4.5mm  4.8mm  5.1mm  5.4mm  5.6mm  5.9mm  6.2mm  6.5mm  次の設定値
```

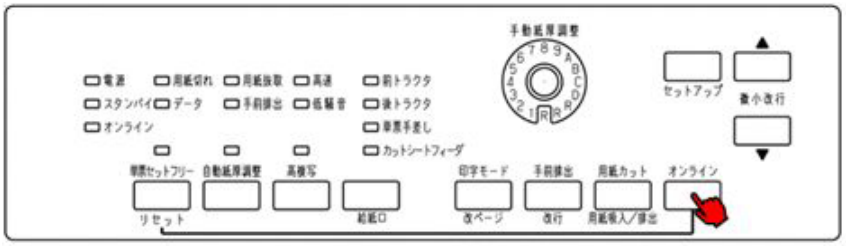
7. 操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



   操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定    余白量設定    ＥＰ設定    補正機能    その他の設定
```

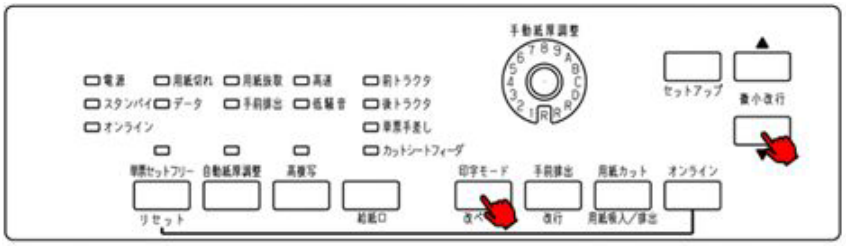
8. 操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



   操作により以下の印刷を行います。

```
設　定      終　了      設定一覧      初期化
```

9. 操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押し、印字ヘッドが『終了』に移動していることを確認し〔微小改行▼〕スイッチを押します。



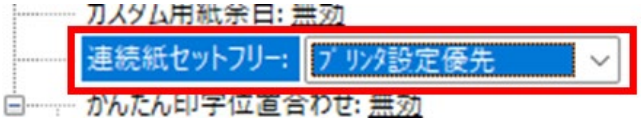
   操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ終了
```

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

10. 手差し、カットシートフィーダーをお使いのときは、これで完了です。
    トラクターフィーダーをお使いのときは、3 の操作を行ってください。

STEP3　プリンタードライバーの連続紙セットフリー設定を『プリンタ設定優先』に変更します。

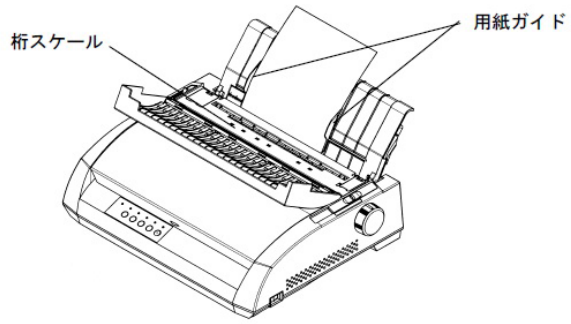


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.3.3　fit3250 / fit3150

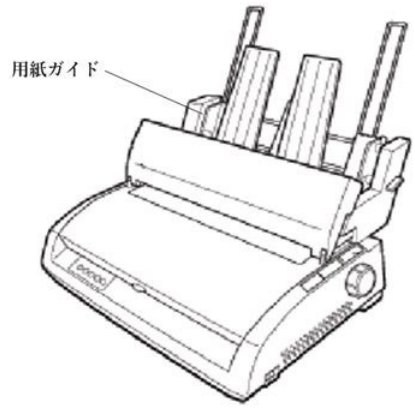
2.3.3.1　手差し

左側の用紙ガイドを突き当たるまで右側に寄せた位置にすると、左端余白が約 4～6mm になります。
プリンタードライバー使用時はこの位置に単票用紙をセットしてください。



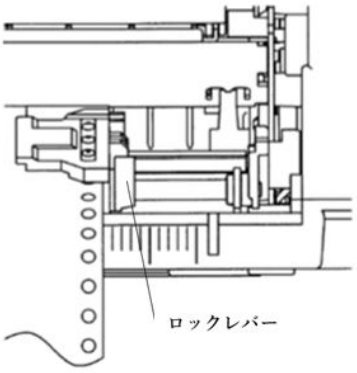
2.3.3.2　カットシートフィーダー

位置の調整は、左側の用紙ガイドを左右にスライドして行います。
用紙ガイドをスケールの”・”マークの最右端に合わせると、左端余白が 5.08mm となります。
fit3150 はカットシートフィーダーに対応していません。



2.3.3.3　トラクター

トラクター位置の調整は、トラクターのロックレバーを引き上げてロックを解除し、トラクターを左右にスライドして行います。
調整後はロックレバーを押し下げてロックします。
トラクターの位置を下図のようにすると用紙左端からの余白が 11.4mm になります。



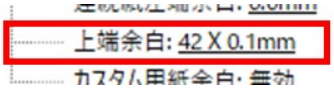
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.4 上端余白設定方法（上端余白量）

2.4.1 fit7850Pro / fit7650Pro

2.4.1.1 プリンタードライバーでの変更

プリンタードライバーのプロパティを開き、[用紙/品質]タブの”上端余白”の設定にて変更が可能です。



2.4.1.2 プリンターでの変更

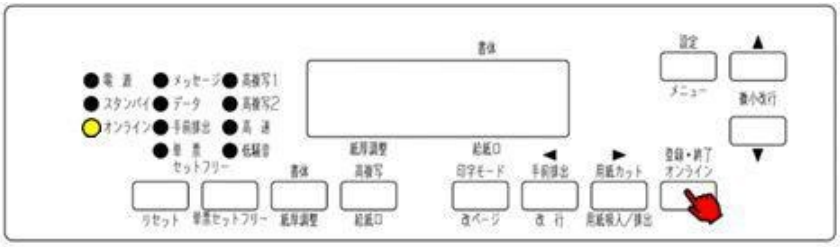
上端余白量は、プリンターの「ヨハクリョウ セッテイ」で設定します。

※ 現在の設定を確認する場合は STEP2～STEP5 および STEP7～STEP8 の操作をしてください。
STEP5 および STEP8 の操作で下段に表示された内容が設定値になります。

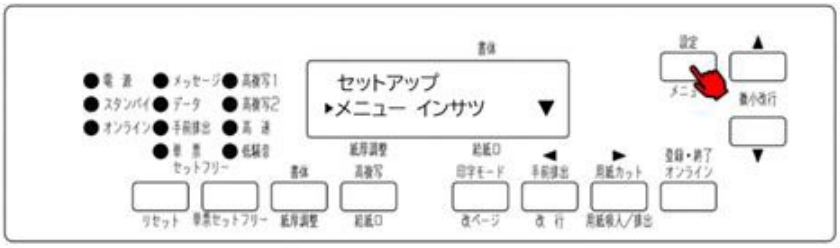
※ 上端余白量を設定し直すときは、STEP2～STEP10 の手順で操作してください。

STEP1 プリンターの電源を投入します。

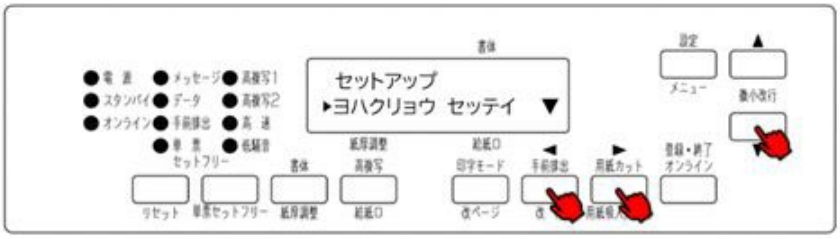
STEP2 操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、
〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



STEP3 操作パネルの「オンライン」ランプが消灯していることを確認し、〔設定｜メニュー〕スイッチを押します。

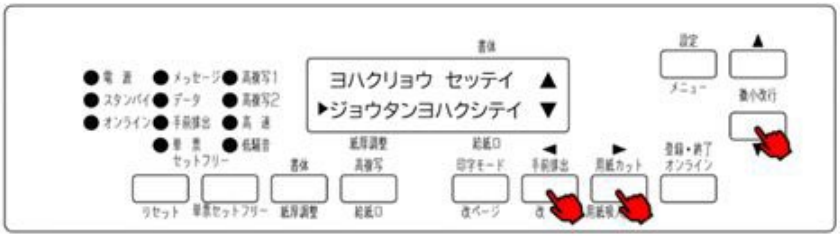


STEP4 操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して『ヨハクリョウ セッテイ』を選び、〔微小改行▼〕スイッチを押します。

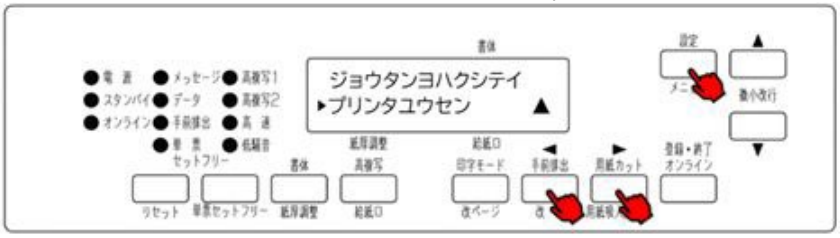


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

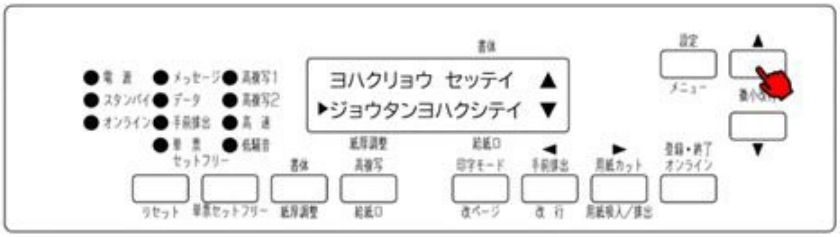
STEP5　操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して『ジョウタンヨハクシテイ』を選び、〔微小改行▼〕スイッチを押します。



STEP6　操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して『プリンタユウセン』を選び、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。

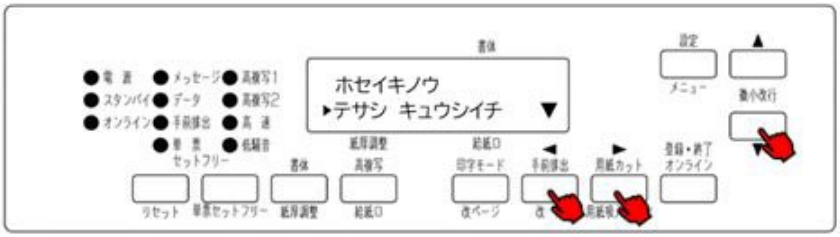


STEP7　操作パネルの〔微小改行▲〕スイッチを押します。



STEP8　操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して、給紙口により以下の項目を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。

・手差し口の時　『テサシ ウエヨハク』
・フロントカットシートフィーダーの時　『FCSF ウエヨハク』
・リアカットシートフィーダーの時　『RSCF ウエヨハク』
・フロントトラクターの時　『F トラクタ ウエヨハク』
・リアトラクターの時　『R トラクタ ウエヨハク』



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP9　操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して、上端余白量を選択します。

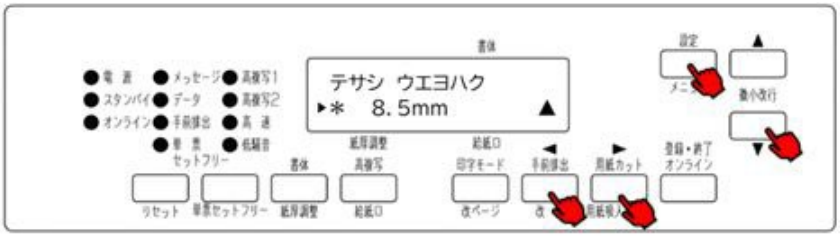
『4.2mm』、『8.5mm』、『22.0mm』を選択したときは、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。

『ソノタ(XX.Xmm)』を選択したときは、〔微小改行▼〕スイッチを押し、〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して上端余白量を選択します。

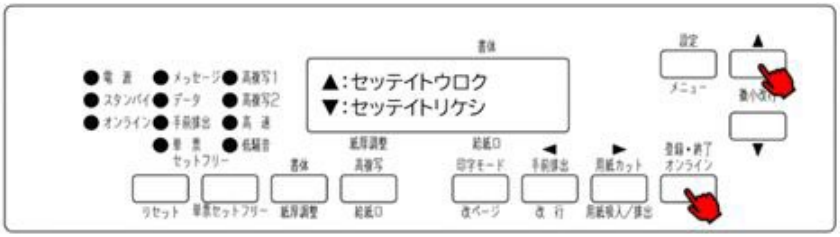
設定したい上端余白値が表示されたら、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。

※ 『ソノタ(XX.Xmm)』の XX.XX 部には数値が入ります。

※ 『ソノタ(XX.Xmm)』は、-10.0mm～30.0mm の範囲(0.5mm 単位)で選択できますが、4.2mm 未満は印字領域外となります。



STEP10　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押し、更に〔微小改行▲〕スイッチを押して設定を登録します。

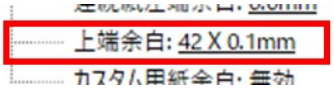


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.4.2　fit7450Pro

2.4.2.1　プリンタードライバーでの変更

プリンタードライバーのプロパティを開き、[用紙/品質]タブの”上端余白”の設定にて変更が可能です。



2.4.2.2　プリンターでの変更

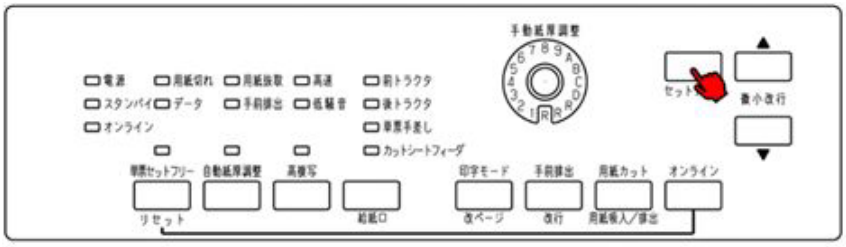
上端余白量は、プリンターの「余白量設定」で設定します。

※　現在の設定を確認するときは、STEP2 の操作で『設定一覧』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押して設定一覧印刷を行ってください。

※　上端余白量を設定し直すときは、STEP2～STEP11 の手順で操作してください。

STEP1　カットシートフィーダーを搭載している場合は外して下さい。
取り外す際は、プリンター電源をオフにしてください。

STEP2　A4 縦以上の用紙をセットし、操作パネルの〔セットアップ〕スイッチを押しながらプリンターの電源を投入します。
一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離します。
単票用紙をセットした場合、用紙が排出されたときは、再度用紙をセットしてください。



操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

STEP3　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドの中央が『設定』に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定　余白量設定　ＥＰ設定　補正機能　その他の設定
```

STEP4　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドが『余白量設定』に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
上端余白量指定
ドライバ優先　　プリンタ優先
```

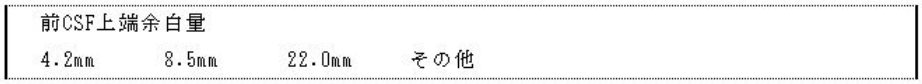
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP5　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドが『プリンタ優先』に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

STEP6　お使いになる給紙口上端余白量設定が印印刷されるまで、操作パネルの〔微小改行▼〕スイッチを押します。

・手差し口の時	『手差し上端余白量調整』
・フロントカットシートフィーダーの時	『前 CSF 上端余白量調整』
・リアカットシートフィーダーの時	『後 CSF 上端余白量調整』
・フロントトラクターの時	『前トラクタ上端余白量調整』
・リアトラクターの時	『後トラクタ上端余白量調整』

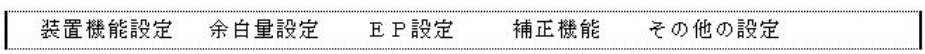
操作により以下の印刷を行います。



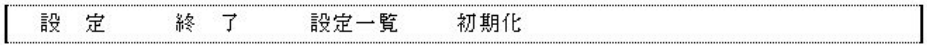
STEP7　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して、設定したい上端余白量へ印字ヘッドを移動したら、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
『4.2mm』、『8.5mm』、『22.0mm』を選択したときは、⑨に進みます。
『その他』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押すと、以下の印刷を行います。

STEP8　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して、設定したい上端余白量へ印字ヘッドを移動したら、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
印刷された値に、設定したい上端余白量がないときは、『次の設定値』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
設定したい上端余白値が印刷されるまで、繰り返します。
※　『その他』は、-10.0mm～30.0mm の範囲(0.5mm 単位)で選択できますが、4.2mm 未満は印字領域外となります。

STEP9　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。



STEP10　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。



上記内容が印刷されたら、操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して、印字ヘッドを『終了』に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押します。

STEP11　STEP10 の操作により以下の印刷を行います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.4.3　fit3250 / fit3150

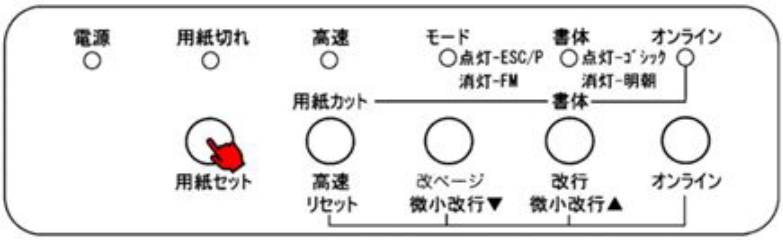
上端余白量は、プリンターの「余白量設定」で設定します。

※　現在の設定を確認するときは、STEP2 の操作で『設定一覧』を選択し、〔改ページ〕スイッチを押して設定一覧印刷を行ってください。

※　上端余白量を設定し直すときは、STEP2～STEP10 の手順で操作してください。

STEP1　カットシートフィーダーを搭載している場合は外して下さい。
取り外す際は、プリンター電源をオフにしてください。
※　fit3150 はカットシートフィーダーに対応していません。

STEP2　A4 縦以上の用紙をセットし、操作パネルの〔用紙セット〕スイッチを押しながらプリンターの電源を投入します。
一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離します。
単票用紙をセットした場合、用紙が排出されたときは、再度用紙をセットしてください。



操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

STEP3　操作パネルの〔改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドが『設定』に移動していることを確認し、〔改行〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定　余白量設定　ＥＳＣ／Ｐ設定　補正量設定　その他の設定
```

STEP4　操作パネルの〔改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドが『余白量設定』に移動していることを確認し、〔改行〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
上端余白量指定
ドライバ指定優先　　セットアップ優先
```

STEP5　操作パネルの〔改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドが『セットアップ優先』に移動していることを確認し、〔改行〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
ドライバ優先　　セットアップ優先
単票上端余白量ＥＰ
4.2mm　　8.5mm　　22.0mm
```

次の項目

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP6　お使いになる給紙口上端余白量設定が印刷されるまで、操作パネルの〔改行〕スイッチを押します。

・単票およびカットシートフィーダーの時（ESC/P モード)　『単票上端余白量 EP』
・連帳の時（ESC/P モード)　『連帳上端余白量 EP』
・単票およびカットシートフィーダーの時（FM モード)　『単票上端余白量 FM』
・連帳の時（FM モード)　『連帳上端余白量 FM』

操作により以下の印刷を行います。(連帳上端余白量 EP の時)

```
連帳上端余白量ＥＰ
4.2mm      8.5mm      22.0mm
```

STEP7　操作パネルの〔改ページ〕スイッチを押して、設定したい上端余白量へ印字ヘッドを移動したら、〔改行〕スイッチを押します。

操作により以下の印刷を行います。(連帳上端余白量 EP、22.0mm の時)

```
4.2mm      8.5mm      22.0mm
単票上端余白量ＦＭ
4.2mm      9.1mm      14.3mm      22.0mm
```

次の項目

STEP8　操作パネルの〔オンライン〕スイッチを押します。

操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定　余白量設定　ＥＳＣ／Ｐ設定　補正量設定　その他の設定
```

STEP9　再度操作パネルの〔オンライン〕スイッチを押します。

操作により以下の印刷を行います。

```
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

上記内容が印刷されたら、操作パネルの〔改ページ〕スイッチを押して、印字ヘッドを『終了』に移動させ、〔改行〕スイッチを押します。

STEP10　STEP9 の操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ終了
```

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.5 上端余白設定方法（上端余白量微調整）

2.5.1 fit7850Pro / fit7650Pro

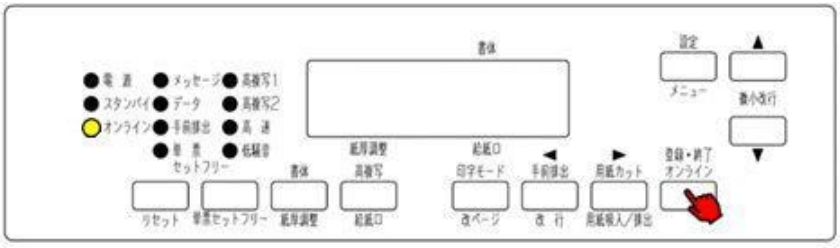
上端余白量の微調整は、プリンターの「ホセイキノウ」で設定します。

※ 現在の設定を確認する場合は STEP2～STEP5 の操作をしてください。STEP5 の操作で下段に表示された内容が設定値になります。

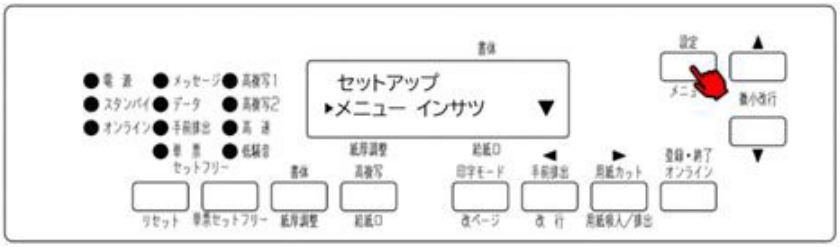
※ 微調整し直すときは、STEP2～STEP7 の手順で操作してください。

STEP1 プリンターの電源を投入します。

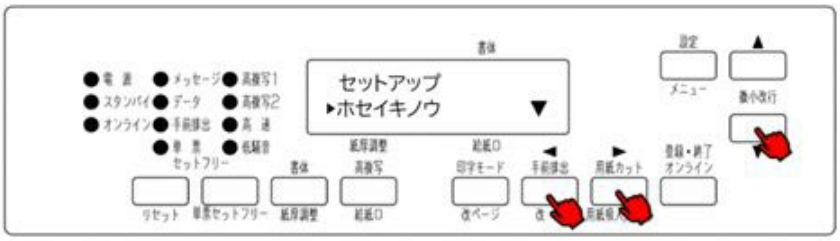
STEP2 操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、
〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。



STEP3 操作パネルの「オンライン」ランプが消灯していることを確認し、〔設定｜メニュー〕スイッチを押します。



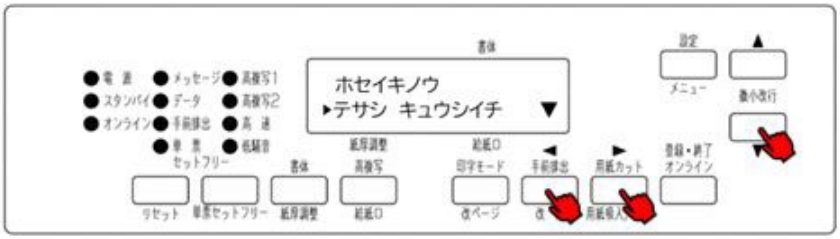
STEP4 操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して『ホセイキノウ』を選び、〔微小改行▼〕スイッチを押します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

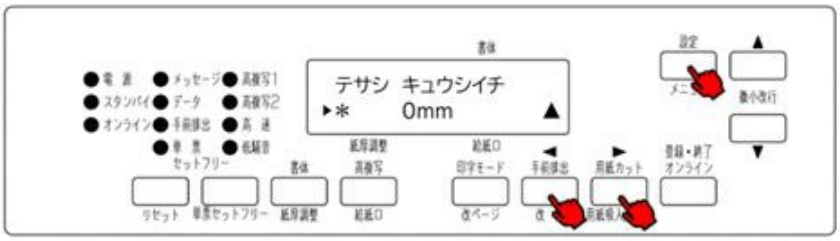
STEP5　操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して、給紙口により以下の項目を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。

・手差し口の時　『テサシ キュウシイチ』
・フロントカットシートフィーダーの時　『FCSF キュウシイチ』
・リアカットシートフィーダーの時　『RCSF キュウシイチ』
・フロントトラクターの時　『F トラクタ キュウシイチ』
・リアトラクターの時　『R トラクタ キュウシイチ』

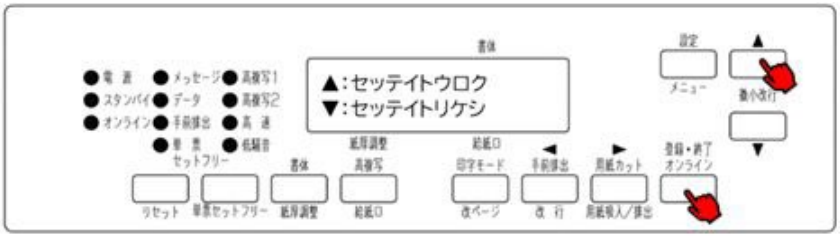


STEP6　操作パネルの〔◂｜手前排出｜改行〕または〔▸｜用紙カット｜用紙吸入／排出〕スイッチを押して、上端余白量の微調整量(補正値)を選択し、〔設定 | メニュー〕スイッチを押します。

調整可能な範囲は±1.0mm(0.1mm 単位)です。
上端余白を大きくしたいときはプラス(+)の微調整(補正値)します。例えば余白を 0.5mm 大きくする場合は『+0.5mm』を選択します。
上端余白を小さくしたいときはマイナス(-)の微調整(補正値)にします。例えば余白を 0.5mm 小さくする場合は「－0.5mm』を選択します。



STEP7　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押し、更に〔微小改行▲〕スイッチを押して設定を登録します。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.5.2 fit7450Pro

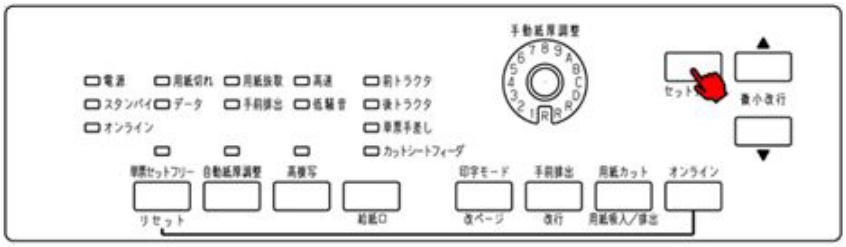
上端余白量の微調整は、プリンターの「補正機能」で設定します。

※ 現在の設定を確認するときは、STEP2 の操作で『設定一覧』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押して設定一覧印刷を行ってください。

※ 微調整し直すときは、STEP2～STEP9 の手順で操作してください。

STEP1 カットシートフィーダーを搭載している場合は外して下さい。
取り外す際は、プリンター電源をオフにしてください。

STEP2 A4 縦以上の用紙をセットし、操作パネルの〔セットアップ〕スイッチを押しながらプリンターの電源を投入します。
一度すべてのランプが点灯してからスイッチを離します。
単票用紙をセットした場合、用紙が排出されたときは、再度用紙をセットしてください。



操作により以下の印刷を行います。

```
セットアップ開始
設　定　　終　了　　設定一覧　　初期化
```

STEP3 操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドの中央が『設定』に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
装置機能設定　余白量設定　ＥＰ設定　補正機能　その他の設定
```

STEP4 操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して印字ヘッドが『補正機能』に移動していることを確認し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。

```
手差し改行補正量
-1.0mm　-0.6mm　-0.3mm　0.0mm　+0.3mm　+0.6mm　+1.0mm
```

STEP5 お使いになる給紙口の上端余白量調整になるまで操作パネルの〔微小改行▼〕スイッチを押します。

・手差し口の時　『手差し上端余白量調整』
・フロントカットシートフィーダーの時　『前 CSF 上端余白量調整』
・リアカットシートフィーダーの時　『後 CSF 上端余白量調整』
・フロントトラクターの時　『前トラクタ上端余白量調整』
・リアトラクターの時　『後トラクタ上端余白量調整』

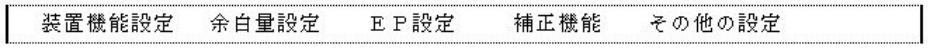
操作により以下の印刷を行います。

```
手差し上端余白量調整
-0.2mm -0.1mm  0.0mm +0.1mm +0.2mm +0.3mm  +0.4mm  +0.5mm 次の設定値
```

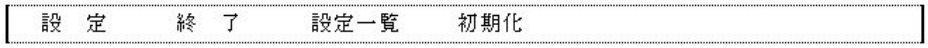
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP6　操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して、設定したい調整値へ移動したら〔微小改行▼〕スイッチを押します。
印刷された値に、設定したい調整値がないときは、『次の設定値』を選択し、〔微小改行▼〕スイッチを押します。
設定したい調整値が印刷されるまで、繰り返します。
調整可能な範囲は±1.0mm(0.1mm 単位)です。
操作により以下の印刷を行います。(+0.5mm 設定の時)

STEP7　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。



STEP8　操作パネルの〔登録・終了｜オンライン〕スイッチを押します。
操作により以下の印刷を行います。



上記内容が印刷されたら、操作パネルの〔印字モード | 改ページ〕スイッチを押して、印字ヘッドを『終了』に移動させ、〔微小改行▼〕スイッチを押します。

STEP9　STEP10 の操作により以下の印刷を行います。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

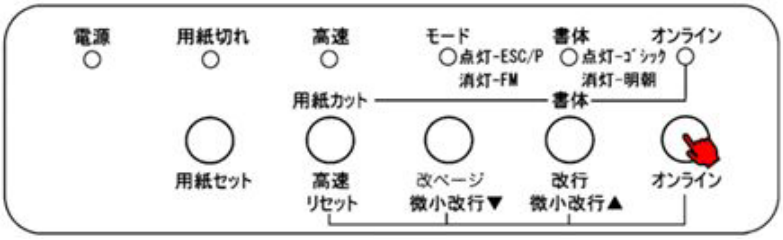
2.5.3 fit3250 / fit3150

用紙吸入量の調整は以下の方法で行います。
用紙吸入量の調整は、連続帳票用紙、単票用紙それぞれ調整します。

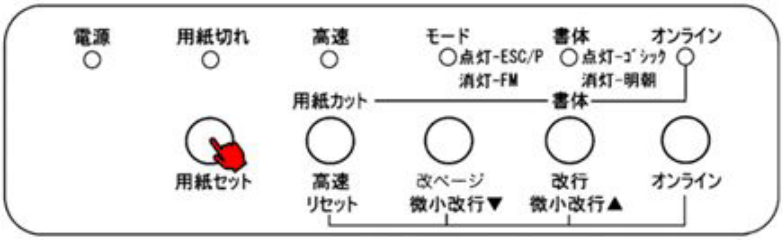
STEP1 用紙無し状態にしてください。

STEP2 連帳／単票切替えレバーで用紙の種類を選択します。

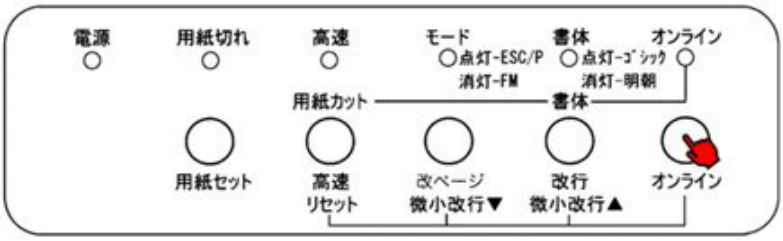
STEP3 操作パネルの「オンライン」ランプが点灯している場合は、〔オンライン〕スイッチを押しオフライン状態にします。



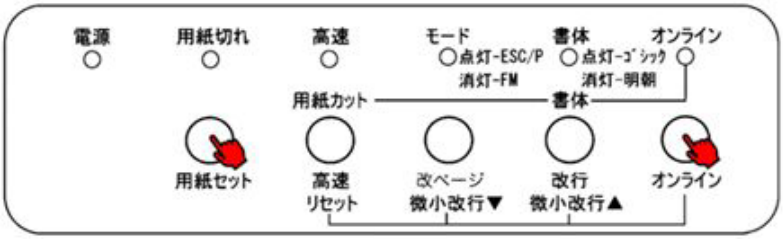
STEP4 プリンターに用紙をセットし、〔用紙セット〕スイッチを押して用紙吸入を行います。



STEP5 用紙吸入後「オンライン」ランプが点灯している場合は、〔オンライン〕スイッチを押しオフライン状態にします。



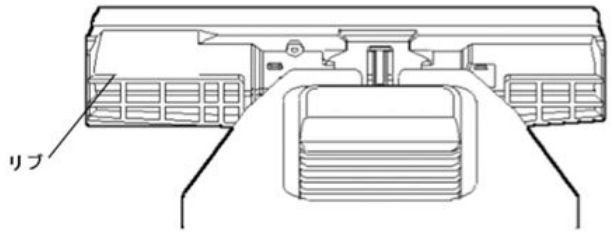
STEP6 オフライン状態で〔オンライン〕スイッチを押しながら〔用紙セット〕スイッチを押し、上端余白調整モードに入ります。



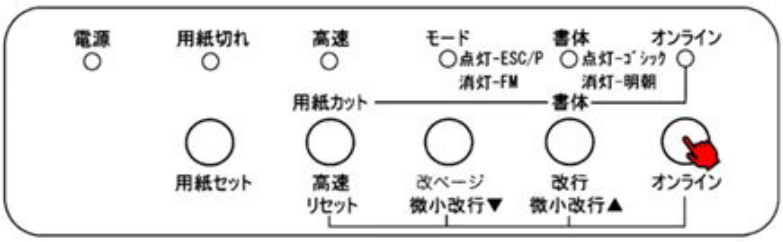
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP7　カードガイドのリブが文字の中心を示していますので、これを目安に用紙の位置を調整します。

・　上端余白を大きくしたいときは〔改行 | 微小改行▲〕スイッチを押します。
・　上端余白を小さくしたいときは〔改ページ | 微小改行▼〕スイッチを押します。
・　印字開始位置を確認したいときは〔高速 | リセット〕スイッチを押します。



STEP8　調整が終わったら操作パネルの〔オンライン〕スイッチを押します。
調整値を記憶するために、必ず〔オンライン〕スイッチを押してください。　〔オンライン〕スイッチを押さなかったり、途中で電源を切ると、調整値は破棄されます。



※再度設定を行う場合は STEP1～8 の操作を行ってください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

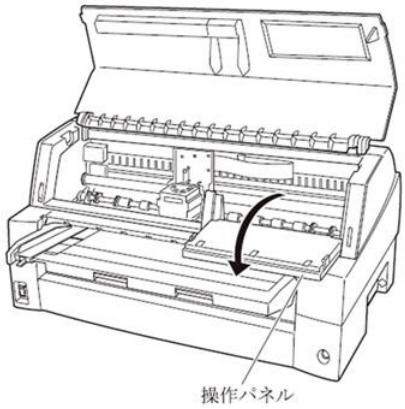
2.6 リボンカセットの取り付け方法

2.6.1 fit7850Pro / fit7650Pro

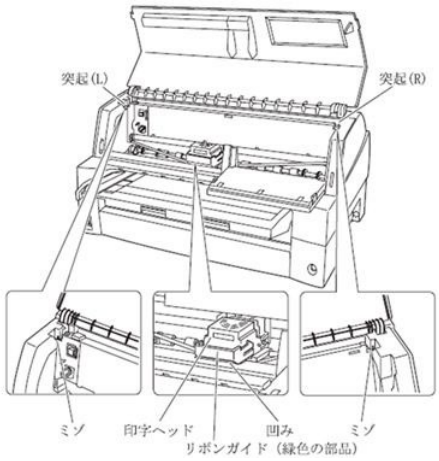
印字した直後は印字ヘッドが高温になります。
リボン交換は、印字ヘッドの温度が下がったことを確認してから、行ってください。

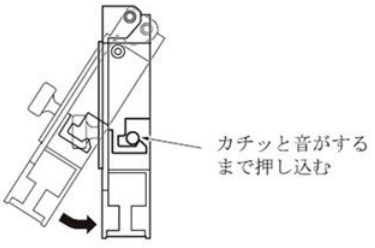
STEP1 トップカバーが閉じている状態で電源を入れます。
印字ヘッドが移動しリボン交換位置に停止したことを確認したら、プリンターの電源を切ります。

STEP2 トップカバーを開け、操作パネルを手前側に倒します。



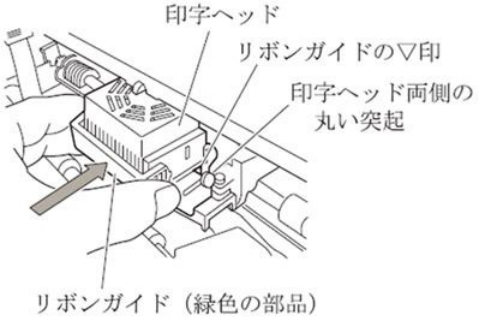
STEP3 リボンガイド（緑色の部品）を印字ヘッド手前の凹みに置きます。
次にリボンカセット両側の突起(L)、(R)をほぼ垂直状態にしてプリンター上部の溝に入れ、 リボンカセットが完全に垂直になるように下部をカチッと音がするまで押し込みます。
リボンカセット装着前にリボンカセットのツマミは回さないでください。



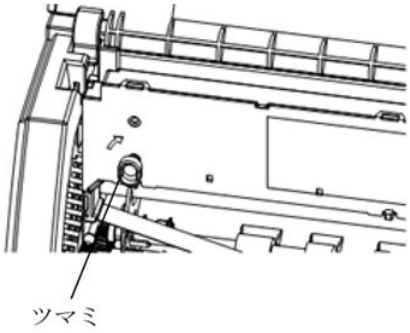


(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

STEP4　リボンを軽くたるませた状態で、リボンガイド（緑色の部品）の▽印部を印字ヘッド左右両側の丸い突起にはめ込みます。



STEP5　リボンカセットのツマミを矢印の方向（時計回り）に回してリボンのたるみを取ります。



STEP6　操作パネルを元に戻し、トップカバーを閉めます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

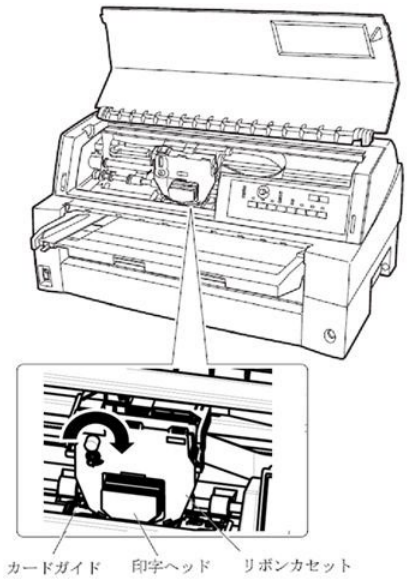
2.6.2 fit7450Pro

印字した直後は印字ヘッドが高温になります。
リボン交換は、印字ヘッドの温度が下がったことを確認してから、行ってください。

STEP1 トップカバーが閉じている状態で電源を入れます。
印字ヘッドが移動しリボン交換位置に停止したことを確認したら、プリンターの電源を切ります。

STEP2 トップカバーを開け、印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットをゆっくり押し込みます。

STEP3 リボン巻取りノブを時計方向に回してリボンのたるみをとります。



STEP4 トップカバーを閉めます。

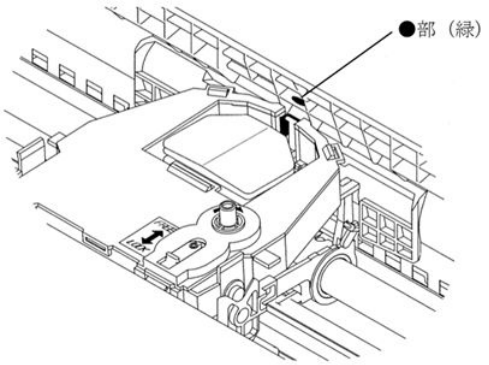
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.6.3 fit3250 / fit3150

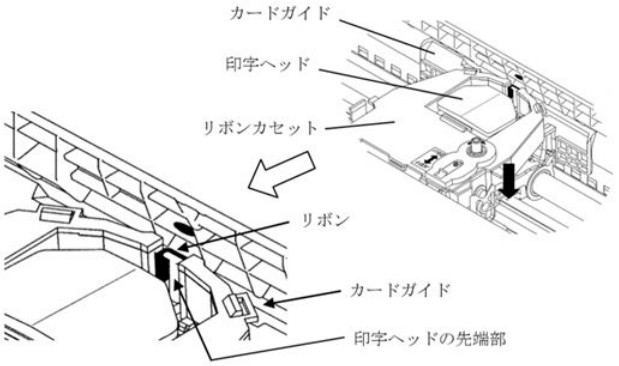
印字した直後は印字ヘッドが高温になります。
リボン交換は、印字ヘッドの温度が下がったことを確認してから、行ってください。

STEP1 プリンターの電源が切れていることを確認し、用紙厚調整レバーを"D"の位置に合わせます。

STEP2 フロントカバーを開け、印字ヘッドをイジェクションカバーの●部（緑）に手で移動します。



STEP3 印字ヘッドとカードガイドの間にリボンを通し、リボンカセットを静かに押し込みます。



STEP4 リボン巻取りノブを時計回りに回してリボンのたるみを取ります。

STEP5 フロントカバーを閉め、用紙厚調整レバーを使用する用紙の厚さに合わせます。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.7 用紙が吸入されない

用紙が吸入されない場合は、確認 1～5 を確認します。

確認 1　プリンターの電源が ON になっていることを確認します。

確認 2　プリンターの給紙口の設定を確認します。
異なる場合は、以下の操作によりご使用する給紙口に変更してください。
※　詳細は、取扱説明書(プリンター編)をご参照ください。

◆ fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro
(1) [オンライン]ボタンを押して、プリンターを”オフライン”にします。
(2) [給紙口]ボタンを押して、給紙口を切り替えます。
※ [給紙口]ボタンを 1 回押すごとに、オペパネの給紙口表示が切り替わります。
(3) [オンライン]ボタンを押して、プリンターを"オンライン"にします。

◆ fit3250 / fit3150
(1) [オンライン]ボタンを押して、プリンターを”オフライン”にします。
(2) 給紙口レバーを操作して、給紙口を切り替えます。
(3) [オンライン]ボタンを押して、プリンターを"オンライン"にします。

確認 3　プリンタードライバーの設定を確認します。
プリンタードライバーのプロパティを開き、以下の設定を確認します。
(1.2 プリンタードライバー設定変更手順を参考)
① [用紙/品質]タブ – “メディア”の設定がご使用する給紙口の設定となっているか。
※　「自動選択」のとき、意図しない 給紙口 や 手差し に切替わったりすることがあります。「自動選択」は使用しないで、印刷に使用する給紙口を指定してください。
② [設定オプション] – 用紙/出力 – “用紙サイズ”の設定がご使用する用紙となっているか。

確認 4　お使いのアプリケーションの印刷設定またはページ設定で、印刷したい給紙口を選択します。
※　アプリケーションの設定については、ご使用されているアプリケーションの説明書または、アプリケーションの開発元にご確認ください。

確認 5　禁止領域（グレー網掛け部）にプレプリントが無いか確認します。
禁止領域にプレプリントがあると用紙吸入できません。
※　詳細は、取扱説明書(プリンター編)をご参照ください。

上記でも改善されない場合、用紙吸入を検出するセンサーが故障している可能性があります。
プリンターをご購入頂いた販売店にお問い合わせください。

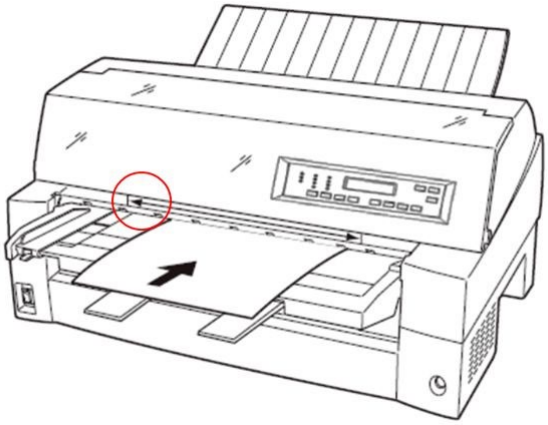
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

2.8 単票用紙を差し込んでも排出される

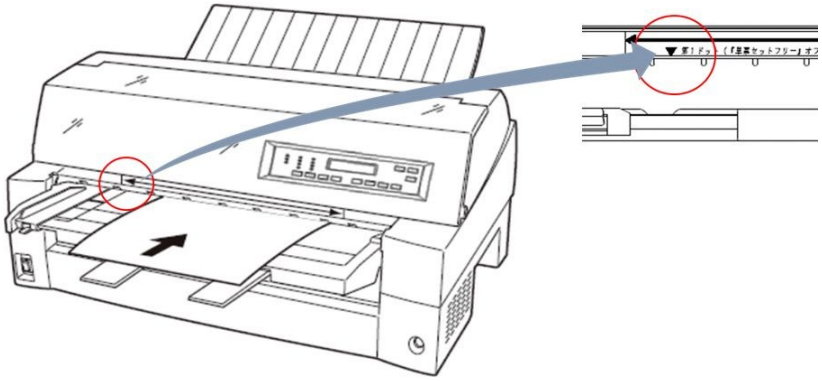
（対象プリンター：fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro）

単票セットフリー機能をオンで使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。
用紙を差し込んでも排出されるときは、下記の手順をご確認ください。

確認 1　用紙左端が、「単票セットフリー」の用紙セット範囲からはみ出ていないか確認します。
用紙左端が、下記○部の「|←」からはみ出していると、用紙が排出されます。
｜←――　「単票セットフリー」の用紙セット範囲　――→｜」の範囲内に、用紙をセットし直します。



確認 2　用紙幅が、はがき(100mm)～B4 サイズ(384mm)の範囲を超えていないか確認します。
用紙幅が、はがき(100mm)以下、または B4 サイズ(384mm)以上のとき、用紙を排出することがあります。
単票セットフリー範囲外の単票用紙を使用するときは、単票セットフリー機能をオフ(ランプ消灯状態)にして、用紙をセットします。
単票セットフリー機能をオフ(ランプ消灯状態)で使用するには、電源再投入で変更が消える「一時的な変更」と、電源再投入後も変更を維持する「恒久的な変更」があります。
設定変更方法は、2.2 セットフリーの設定方法 をご参照ください。
※　単票セットフリー機能オフ(ランプ消灯)時は、下記○部に表示の「▼第 1 ドット(「単票セットフリー」オフ時)」が印刷開始位置となりますので、この位置を基準に用紙をセットしてください。



確認 3　用紙が斜めに送られていないか確認します。
まっすぐに用紙をセットし直します。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

確認 1～3 で改善されない場合、以下のプリンター設定を変更してお試しください。
プリンターの設定変更方法については、取扱説明書（プリンター編）を参照してください。

① 斜行吸入と判断するしきい値を変更する
- ◆ fit7850Pro / fit7650Pro
  ソノタノセッテイ → セットフリーシャコウシキイチ
  を”2.5mm”など現在の設定から大きい数値に変更
- ◆ fit7450Pro
  その他の設定 → セットフリー斜行しきい値(※)
  を”2.5mm”など現在の設定から大きい数値に変更
  ※ セットフリー機能オフの場合は、”手差し斜行しきい値”となります。

② 斜行吸入の判断を無効化する
- ◆ fit7850Pro / fit7650Pro
  ソノタノセッテイ → シャコウケンシュツ
  を”ムコウ”に変更
- ◆ fit7450Pro
  その他の設定 → 用紙吸入時の斜行検出
  を”無効”に変更

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3 LAN インターフェイス関連

3.1 LAN インターフェイスで印刷する方法

LAN インターフェイスで印刷する場合は、以下の手順でドライバー、ソフトウェアのインストールと設定を行なう必要があります。

STEP1 製品に添付している CD-ROM または、弊社ホームページからドライバー・ソフトウェアをダウンロードし、必要なソフトウェアをインストールします。
必要なソフトウェアは以下の通りです。

◆fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro
・プリンタードライバー
・LAN 設定ツール(PR-LN4S 設定ツール)：PR-LN4S の LAN 設定及びプリンタードライバー用専用ポートを作成します。

◆fit3250
・プリンタードライバー
・Quick Setup：PR-LN1 の LAN 設定を行ないます。(インストール不要)
・PR-Port Manager：プリンタードライバー用専用ポート作成及び Popup ステータスモニタをインストールします。

※ インストール方法については、取扱説明書（ソフトウェア編）及び プリンターLAN カードオンラインマニュアル をご参照ください。
※ プリンタードライバー専用ポートを使用しない場合は、”PR-Port Manager”は不要です。

STEP2 PR-LN4S 設定ツールまたは、Quick Setup/PR-Port Manager を使用し、プリンターの LAN 設定及びプリンタードライバー用専用ポートの作成を行います。
詳細は、プリンターLAN カードオンラインマニュアルをご参照ください。
※ プリンタードライバー専用ポートを使用せず、Standard TCP/IP ポートを使用する場合は、1.3 Standard TCP/IP ポートの追加手順 を参照し、ポートの追加を行ってください。

STEP3 STEP2 で作成したポートをプリンタードライバーに割り当ててください。

STEP4 必要に応じて、プリンタードライバーの設定を変更してください。
変更方法は、1.2 プリンタードライバー設定変更手順 を参照してください。

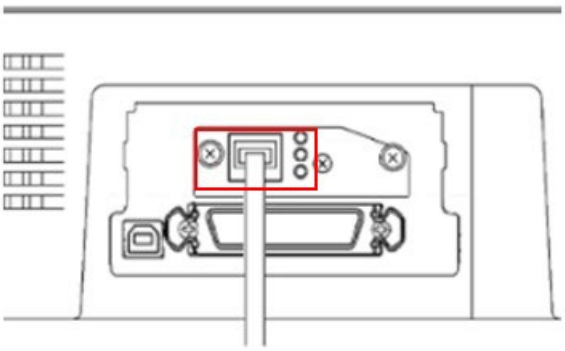
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.2 プリンターが通信できない、検索できない

お使いのプリンターが LAN の通信ができない、または検索できない場合は、LAN カードの LED 点灯状況に応じて接続可否の確認を行ってください。

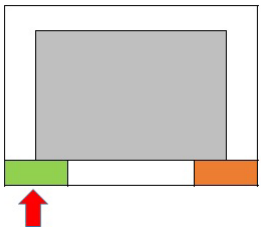
3.2.1 LED の確認方法

STEP1 プリンター側 LAN ケーブルの接続部を確認します。

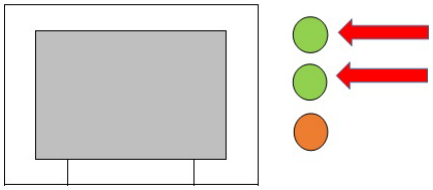


STEP2 LED の点灯状況を確認します。 ※確認お使いのプリンターによって異なります。

◆ PR-LN4S (fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro)
矢印の LED が点灯していることを確認してください。



◆ PR-LN1 (fit3250)
矢印のどちらか一方の LED が点灯していることを確認してください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.2.2 LED が点灯している場合

お使いのプリンターはネットワークには接続できていますが、パソコンとの通信が確立できていません。
複数の原因が考えられますので、以下の解決方法を順に実施ください。

確認 1 ご使用のセキュリティソフトの設定によって、通信が制限/ブロックされている可能性があります。

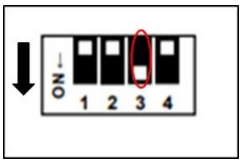
① Windows ファイアーウォールをご使用の場合は、ツールのインストール時または起動時に、例外リスト登録メッセージがポップアップされますので、[はい]をクリックし、例外リストの登録を行なってください。

② 市販のセキュリティソフトウェアをご使用の場合は、セキュリティソフトによって例外リスト登録方法が異なりますので、各メーカーにお問い合わせください。

③ 上記でも解決できない場合は、お使いのセキュリティソフトのファイアーウォールを一時的に無効にしてください。

確認 2 プリンターまたはパソコンの LAN 設定(ネットワーク設定)に相違があるために、通信が行なわれない可能性があります。

① プリンター側の LAN 設定を確認してください。
プリンターの LAN カードに搭載されている DIP スイッチを利用することで、プリンターの LAN 設定印刷が可能です。
(1) プリンターに用紙を吸入します。
(2) プリンターの電源を OFF にします。
(3) DIP スイッチの 3 番を ON 側にして、プリンターの電源を ON にします。
※ DIP スイッチは LAN ボードに搭載されていますので、各プリンターのインターフェイスケーブル接続部分をご確認ください。



(4) 電源投入後しばらくすると、LAN 設定が印刷されます。印刷が完了するまでお待ちください。
(5) 印刷完了後、プリンターの電源を OFF にし、DIP スイッチの 3 番を OFF に戻します。
(6) 印刷された内容にある「Configure TCP/IP - DNS」欄にてプリンターに設定されている LAN 設定を確認することが可能です。

※ プリンターIP アドレスを DHCP で割り当てている場合、印刷からの確認ができません

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

② パソコン側のネットワーク設定を確認してください。
例として、コマンドプロンプトを使ったパソコンの LAN 設定確認方法についてご紹介します。
(1) キーボード上の Windows のロゴがついたキーと R キーを同時に押します。(Windows + R)
(2) 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されたら、"cmd"と入力し、[OK]をクリックします。
(3) コマンドプロンプト画面が表示されたら、"ipconfig"と入力し、Enter キーを押します。
(4) パソコンの LAN 設定が表示されますので確認してください。

③ ①と②で設定が相違する場合は、プリンター側の設定に合わせて、パソコンのネットワーク設定を変更してください。

確認 3 確認 1、2 でも解決しない場合は、プリンターの LAN 設定を工場出荷時の状態に戻し、再度 LAN の設定を行なってください。
変更方法は、3.3 LAN の設定を工場出荷時に戻す方法 をご参照ください。

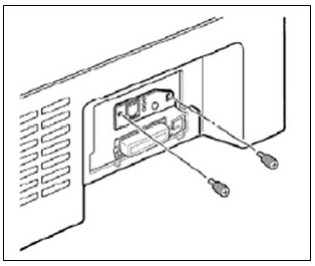
3.2.3 LED が点灯していない場合

プリンターがネットワークに接続できていません。
複数の原因が考えられますので、以下の解決方法を順に実施ください。

確認 1 プリンターの電源が入っていない可能性があります。
プリンターの"電源"ランプが点灯しているか、電源コード及びコンセントの接続が抜けていないかを確認してください。

確認 2 LAN ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
- プリンターの LAN ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 使用中の中継器側（ルーターやスイッチハブなど）で LAN ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- 現在使用中の LAN ケーブルが断線している場合は、別の LAN ケーブルでお試しください。

確認 3 プリンターに取り付けている LAN インターフェイスカードが正しく取り付けられていない可能性があります。
LAN インターフェイスカードが螺子止めされていることを確認して下さい。
※ 確認する際は、必ずプリンターの電源を OFF にしてから行なってください。



(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

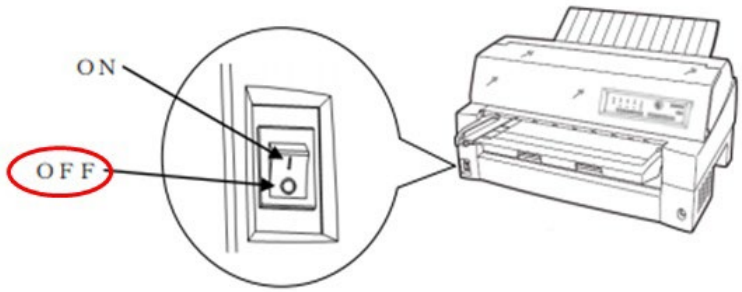
確認 4　USB ケーブルまたはパラレルケーブルが接続されている可能性があります。
LAN ケーブル以外のインターフェイスケーブルが接続されていないか確認してください。
接続されている場合は、プリンターの電源を OFF して、ケーブルを抜いてから、ご使用ください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.3 LAN の設定を工場出荷時に戻す方法

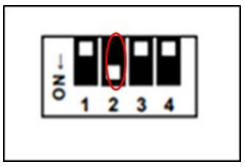
プリンターの LAN カードに搭載されている DIP スイッチを利用して、プリンターの LAN 設定を工場出荷時の状態に戻すことが可能です。

STEP1 プリンターの電源スイッチを OFF にします。



STEP2 DIP スイッチの 2 番を ON 側にし、プリンターの電源を投入します。(20 秒程度、そのままお待ちください。)

※ DIP スイッチは LAN ボードに搭載されていますので、各プリンターのインターフェイスケーブル接続部分をご確認ください。



STEP3 STEP2 実施後、プリンターの電源を OFF にし、DIP スイッチの 2 番を OFF に戻します。

以上で LAN 設定の初期化は完了となります。

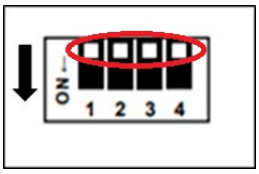
(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

3.4 プリンターの LAN 設定が失敗する

（対象プリンター：fit7850Pro / fit7650Pro / fit7450Pro）

PR-LN4S 設定ツールを使用して、プリンターLAN の設定変更が失敗する場合は、以下の内容を確認してください。

確認 1　DIP スイッチがすべて OFF になっているか確認してください。



確認 2　DHCP 環境を使用していない場合、プリンターに設定する IP アドレスに対して、PC の IP アドレスが同じセグメントの設定となっているか確認してください。
なっていない場合は、同じセグメントの設定にしてください。
例) プリンターの IP アドレスを“192.168.20.100”に設定する場合、
→ PC の IP アドレスを “192.168.20.50” などに設定する

確認 3　ネットワーク設定でプロキシ等設定されている場合は、一度無効にしてください。

確認 4　上記でも改善されない場合は、以下の手順でプリンターの IP アドレスを一旦固定させてから、設定変更を行ってください。

(1) プリンターの電源を OFF にします。
(2) DIP スイッチの 1 と 2 を ON にし、プリンターの電源を ON にします。

(3) 10 秒ほど待ち、プリンターの電源を OFF にします。
(4) (2)のスイッチを元に戻し、プリンターの電源を ON にします。
※ プリンターの IP アドレスが、「192.168.192.168」 になります。
(5) PC の IP アドレスを「192.168.192.100」等に変更します。
(6) Microsoft Edge 等で Web ブラウザを開き、以下の URL を指定します。
URL：http://192.168.192.168/
(7) PR-LN4S の Web ページが表示されます。
“プリントサーバ機能”をクリックします。
(8) ユーザ名とパスワード入力画面が表示されますので、下記を指定してください。
ユーザ名：root、パスワードはなし
(9) “TCP/IP 設定” をクリックし、IP アドレス等を変更後、[設定更新]をクリックします。
(10) “プリントサーバ再起動”をクリックします。

これで設定変更が完了しましたので、(5)の PC 設定をプリンターの IP アドレスに合わせて変更し、プリンターの接続を確認してください。

(C) 2025 Fujitsu Isotec Limited.

ドットインパクトプリンター
fit7850Pro/fit7650Pro/fit7450Pro
fit3250 / fit3150
よくある問い合わせ / ノウハウ集

発行日　　2025 年 11 月 第 01 版
発行責任　　富士通アイソテック株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。